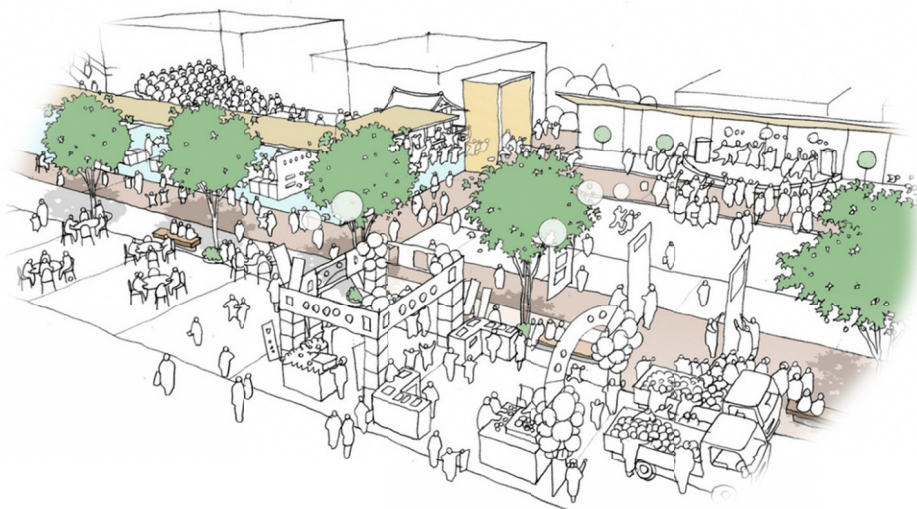


(仮称) 矢吹町複合施設基本計画



つど まな あそ はぐく ひろば
～ 集い・学び・遊び・育む フロンティア広場 ～



平成29年12月

矢 吹 町

はじめに



矢吹町長 野崎 吉郎

このたび、矢吹町の中心市街地の賑わい創出と東日本大震災からの復興のシンボルとして、「(仮称) 矢吹町複合施設」を整備するにあたり、平成 28 年 10 月に策定した「(仮称) 矢吹町複合施設基本構想」をさらに進展させた「(仮称) 矢吹町複合施設基本計画」を策定いたしました。

複合施設整備を含めた「矢吹駅周辺地区都市再生整備計画」は、「第 6 次矢吹町まちづくり総合計画」の重点プロジェクトの一つに位置付けられております。

東日本大震災という未曾有の被害を受けた矢吹町が、希望にあふれた明るい未来を創造し、100 年、200 年と持続可能なまちづくりをするため、私たちは、未来を拓く開拓者として、矢吹町らしいまちづくりをしていかなければなりません。

このような中、本施設は、「公民館機能」、「図書館機能」、「子育て世代活動支援機能」、「観光交流機能」の 4 つの機能が複合化、・集約化された施設であり、それぞれの機能が有機的に連携することで、これまでにない活動スタイルや世代間の交流が生まれ、中心市街地賑わい創出の拠点になるものと期待しております。

本計画では、施設整備にあたってのキャッチフレーズを「^{つど}集い・^{まな}学び・^{あそ}遊び・^{はぐく}育む フロンティア^{ひろば}広場」とし、様々な世代の方々が、自分に秘めた可能性を形にするため、その舞台となる複合施設に集い、交流し、そして躍動するという考え方です。その個々の活動が融合し合い、大きなまちづくりの波動となって、町全体に「フロンティアスピリット（開拓精神）」が浸透し、町の将来像「未来を拓く日本三大開拓地 さわやかな田園のまち・やぶき」の実現に繋がるものと確信しております。

そのためにも、今後も町民の皆様と共に、知恵を出し、汗をかきながら素晴らしい施設にしていまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、幾度となく貴重なご意見を賜り、計画の礎を築いていただきました「(仮称) 矢吹町複合施設整備検討委員会」の皆様をはじめ、ご協力を賜りました各種団体の皆様に心から感謝を申し上げます。

町民みんなの場の実現に向けて



略 歴

東洋大学名誉教授。工学博士。

国立教育政策研究所文教施設センター客員研究員。

東京大学大学院博士課程修了。東京大学助手、日本大学工学部専任講師、助教授、教授、東洋大学理工学部教授を経て現職。

(仮称) 矢吹町複合施設整備検討委員会
委員長 長澤 悟

検討委員会での議論は、先進施設の視察を含め 10 か月間に 12 回に及びました。建設の可能性、妥当性を確かめながら、単なる箱物でなく生きたものとするために、施設状況、利用実態、要望等を踏まえ、各委員が日頃の活動を通して得てきた経験や関係者の声をもとに、幅広い観点から忌憚なく意見を出し合いました。

各委員共通の想いは、本報告書にある「^{つど}集い・^{まな}学び・^{あそ}遊び・^{はぐく}育む フロンティア^{ひろば}広場」というキャッチフレーズに凝縮されています。年齢や住所の違いを超えてみんなの足が向き、一人で、仲間と、また大勢での学びや活動を通して、楽しい時間が持てる。子どもを安心して育て、町や地域の歴史・文化を町内外の人々が実感することで町の未来を切り拓いていく。そのために誰にでも開かれた広場のような施設にしたいということです。

従来の施設種別や制度を前提にすれば、それは公民館・図書館・子育て世代活動支援・観光交流の“複合施設”です。でも矢吹町の個性や場所の特性をもとに、要望や期待を集めたらこうなった。そういう意味では、複合施設というより一般名称のないここだけの施設です。

想いを形にするには今からが新たなスタート。奥州街道のシンボルとなる姿、ここで過ごす喜びが感じられる空間、思い通りに活動ができる運営体制等、みんなの手でみんなの施設づくりを継続していきましょう。矢吹の力を示しましょう。

（仮称）矢吹町複合施設基本計画 目次

はじめに

1 計画の目的と理念

- 1.1 計画の目的 ----- P 1
- 1.2 基本理念・基本方針 ----- P 1

2 現状の把握と整理

- 2.1 対象地区の概要 ----- P 3
- 2.2 計画概要・関連計画との整合 ----- P 4
- 2.3 計画敷地の法的条件の整理 ----- P 5
- 2.4 中央公民館の現況 ----- P 6
- 2.5 図書館の現況 ----- P 12
- 2.6 子育て関連施設の現況 ----- P 18
- 2.7 観光交流施設の現況 ----- P 21

3 要望の把握と整理

- 3.1 町民の生涯学習ニーズの把握 ----- P 24
- 3.2 利用者・利用団体の意見や要望 ----- P 27
- 3.3 検討委員会の意見の整理 ----- P 34

4 計画目標

- 4.1 キャッチフレーズ ----- P 46
- 4.2 計画目標の考え方 ----- P 47
- 4.3 複合施設の在り方 ----- P 47
- 4.4 複合施設整備基本方針 ----- P 50

5 必要機能と施設規模の検討

- 5.1 公民館機能 ----- P 53
- 5.2 図書館機能 ----- P 55
- 5.3 子育て世代活動支援機能 ----- P 57
- 5.4 観光交流機能 ----- P 57
- 5.5 所要室・面積構成表 ----- P 58

6	施設基本計画	
6.1	計画条件及び配置・平面計画の基本方針	P 60
6.2	配置及び平面計画	P 62
6.3	構造計画	P 63
6.4	環境配慮計画	P 64
6.5	バリアフリー・ユニバーサルデザインの計画	P 69
6.6	概算事業費	P 70
7	管理運営計画	
7.1	管理運営体制	P 70
7.2	管理区分	P 70
7.3	維持管理	P 70
7.4	管理運営の基本的な考え方	P 70
8	複合施設整備事業スケジュール	P 71
9	今後の検討事項	P 71
10	参考資料	
10.1	用語の解説	P 72
10.2	(仮称)矢吹町複合施設整備検討委員会 (設置要綱、検討経過、委員名簿)	P 74
10.3	(仮称)矢吹町複合施設庁内調整会議(検討経過、構成員名簿)	P 76
10.4	各種団体への説明経過	P 78
10.5	震災以降に各種団体から出された中心市街地復興に関する提案等	P 79
10.6	周辺自治体類似施設の概要、利用状況	P 80

おわりに

「複合施設にかけるおもい」

1 計画の目的と理念

1.1 計画の目的

本基本計画の策定にあたっては、平成 28 年 10 月に策定された「（仮称）矢吹町複合施設基本構想」を基に、平成 29 年 2 月～12 月に開かれた「（仮称）矢吹町複合施設整備検討委員会」（以下、検討委員会という）において、複合施設の在り方から各機能や必要諸室の構成、運営方針について、12 回の会議を開催し、多角的な検討をし十分に議論しました。

「公民館」・「図書館」・「子育て世代活動支援」・「観光交流」の 4 つの機能が複合化することで実現される新たな場所、機能、役割、サービスなどの諸条件と考え方を整理し、町民の皆様の様々な文化的活動・芸術的活動・生涯学習活動・子育て支援活動についての情報収集と発信、更には観光分野などを支援するための施設整備推進を本基本計画の目的とします。

1.2 基本理念・基本方針

(1) 基本理念

～多くの人々が交流する町のシンボルとなる施設～

複合施設の建設予定地は、東日本大震災からの復旧復興、さらなる活性化が求められる本町の中心市街地のほぼ中央部、町の玄関口である JR 矢吹駅近くに位置し、骨格道路である旧奥州街道にも面しています。条件に恵まれた本建設予定地に建設する複合施設は、中心市街地のみではなく本町を代表する新たな核となる施設となります。そのため、複合施設は、中心市街地や本町の復旧復興を町内外に広くアピールするとともに、さらなる活性化に寄与することを目指して、多くの人々が利用し交流することによって活気や賑わいを生み出す、本町のシンボルとなる施設として整備します。

(2) 基本方針

基本理念を実現するため、複合施設は以下の基本方針に基づき整備します。

①多くの人々が利用する複合施設

複合施設は、耐震性能が著しく低く、老朽化が進む矢吹町中央公民館がこれまで果たしてきた役割を担う地域交流センターとしての機能を有する施設として整備します。そして、周辺の公共施設の状況などを勘案しながら、より多くの人々が利用する多機能複合施設として整備します。

②多様な人々の利用を想定した施設整備

複合施設は、年齢や障がいの有無などを問わず多様な人々の利用を想定して、ユニバーサルデザインの考え方を導入し、安全に、安心して、円滑かつ快適に利用できる施設として整備します。

③シンボル施設としての意匠や形態などの配慮

複合施設は、周辺環境への影響も考慮しながら、中心市街地のみならず本町を代表するシンボル施設にふさわしい形態や意匠となるよう配慮します。

④維持管理がしやすく L C C^{※1}に配慮した施設

複合施設は、今後の本町の財政事情なども考慮して、改善や維持管理がしやすく、L C C（ライフサイクルコスト）に十分配慮した施設として整備します。

⑤環境への配慮

規模が大きく周辺施設等への影響も大きい複合施設は、自然エネルギーの活用、省エネ設備の設置、リサイクルなど 20 のエコ提案に基づいた環境負荷の低減に配慮した施設として整備します。

【（仮称）矢吹町複合施設基本構想より抜粋】

※1 参考資料 P72 参照

2 現状の把握と整理

2.1 対象地区の概要

矢吹町西部に位置するＪＲ矢吹駅周辺部は、奥州街道の宿場町として矢吹宿が設けられ、明治時代に駅が開業したことにより、旧矢吹町の中心市街地としてより一層発展しました。

しかしながら、近年のモータリゼーション※²の発展から、西側を通る国道４号沿線や、南東部に位置する矢吹中央インターチェンジ周辺などへの大型店舗の出店等により、元来の中心市街地の賑わいや活力が失われつつある状況です。

さらに、平成２３年に発生した東日本大震災では、土地や建物等に甚大な被害を受け、旧奥州街道沿線は、多くの空地がみられる状況であり、中心市街地としての役割を十分に果たすことが難しくなっている状況でもあります。

対象地区はまちづくりの上位計画である「矢吹町都市計画マスタープラン」において、「魅力と賑わいのある中心市街地としての再生」を目標に掲げ、豊かな自然との調和の中で、駅前商店街等の利便性の高い市街地としての再生、産業活動を支える環境整備等により、再び多くの人々の交流や町の活力を育む地域として再生を目指しています。

■位置図



※2 参考資料 P72 参照

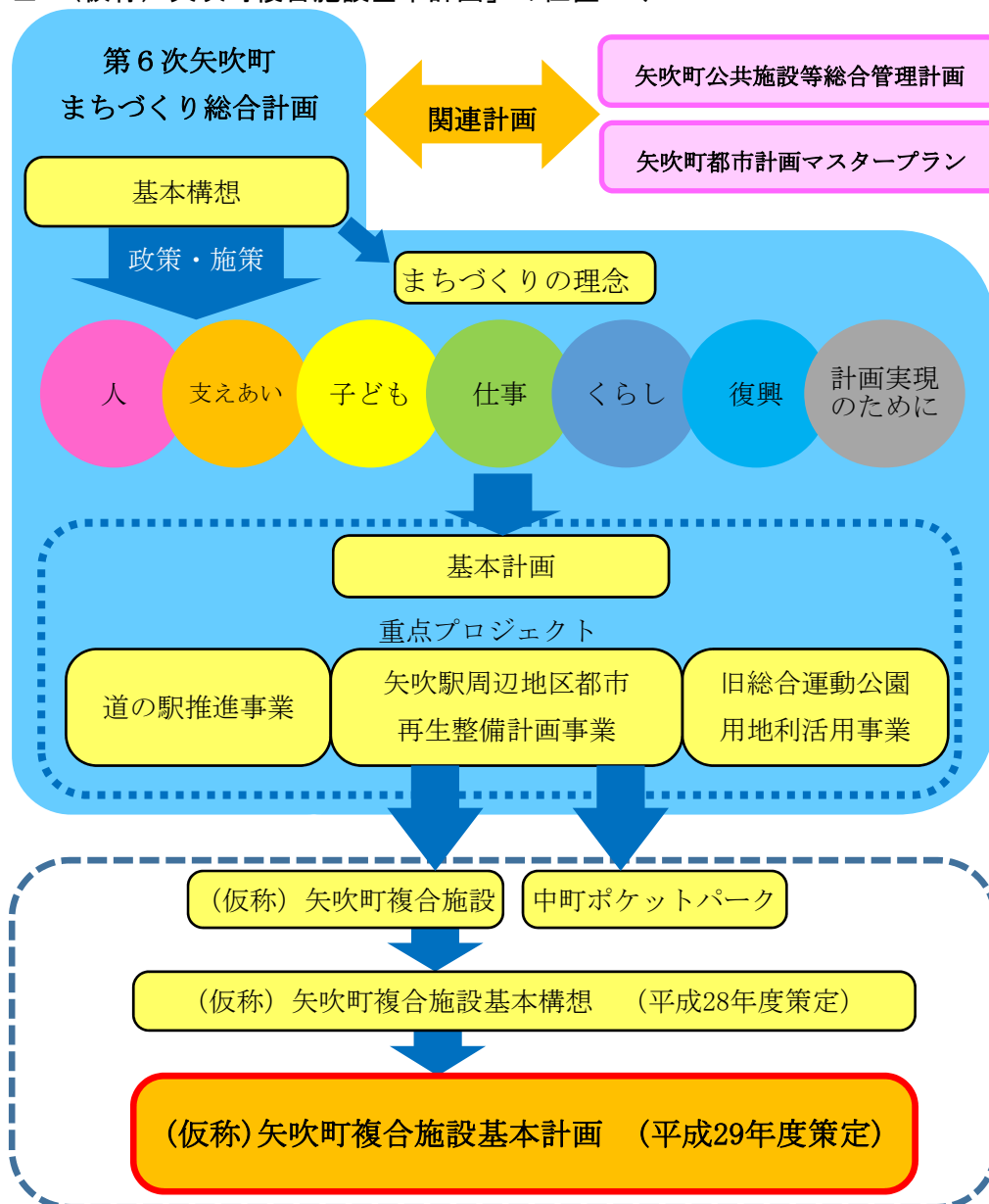
2.2 計画概要・関連計画との整合

本計画は、「第6次矢吹町まちづくり総合計画」を最上位計画とし、関連計画でもある「矢吹町公共施設等総合管理計画」、「矢吹町都市計画マスタープラン」との整合性をもとに、具体的な施設の基本計画として策定するものです。

「第6次矢吹町まちづくり総合計画」の3つの重点プロジェクトに位置づけられている事業の1つである、「矢吹駅周辺地区都市再生整備計画事業」により、平成28年度「(仮称)矢吹町複合施設基本構想」を策定しました。

平成29年度は、検討委員会での議論や類似施設の視察研修、また生涯学習推進計画策定のためのアンケート等を実施し、十分な検討を行いました。

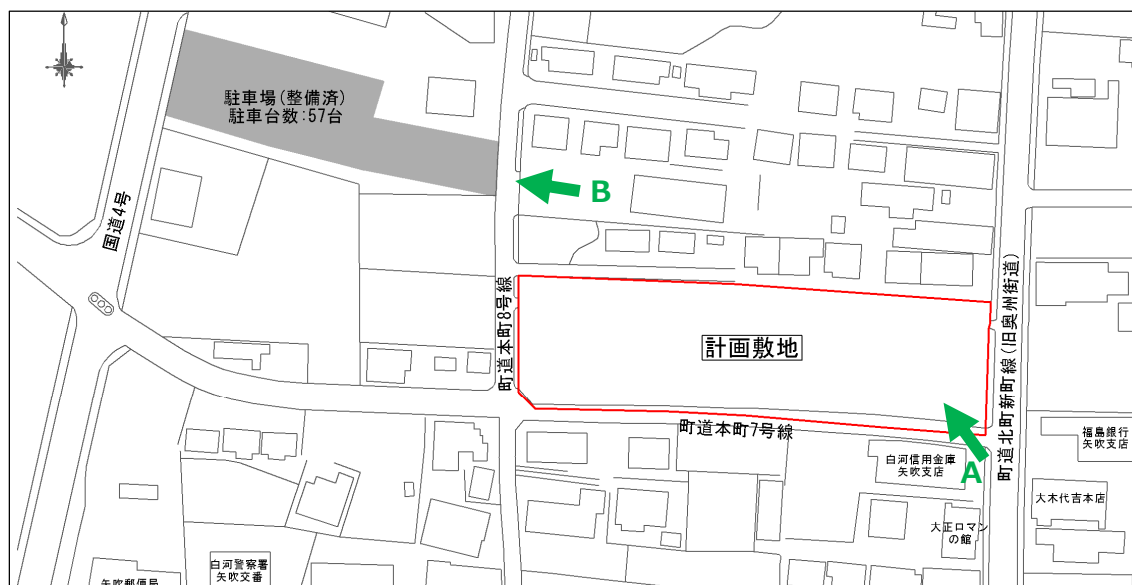
■「(仮称) 矢吹町複合施設基本計画」の位置づけ



2.3 計画敷地の法的条件の整理

■計画敷地図

← 写真視点場



所在地 … 矢吹町本町 165 番地、166 番地、167 番地、168 番地、169 番地 1

計画敷地面積 … 約 4,400 m²

駐車場面積 … 約 1,800 m²

都市計画区域 … 区域内非線引き区域^{※3}

用途地域 … 近隣商業地域^{※4} (町道北町新町線境界より 30m まで)、第 1 種住居地域^{※5}

防火地域 … 法 22 条指定区域^{※6}

法定容積率 … 200%

法定建ぺい率 … 80% (近隣商業地域)、60% (第 1 種住居地域)

前面道路 … 東側—町道北町新町線 現況幅員 10m (拡幅工事予定)
 南側—町道本町 7 号線 現況幅員 4m (平成 29 年度拡幅工事予定)
 西側—町道本町 8 号線 現況幅員 6m (平成 29 年度拡幅工事予定)



視点場 A
計画敷地現況



視点場 B
駐車場現況

※3、4、5、6 参考資料 P72 参照

2.4 中央公民館の現況

(1) 現況の整理

JR 矢吹駅の南部に位置し、昭和 48 年 6 月に開館しました。日常生活における市民の身近な学習活動の場として親しまれ、社会教育、生涯学習の推進に大きな役割を果たしてきました。しかし、40 年以上が経過した現在、老朽化が進み、建て替えなどの対応が必要となっています。また、施設内にエレベーターがなく、更に段差が多いなど、バリアフリー^{※7}に対応していない事もあり、高齢者や障がい者の利用に不便を来しております。

1) 施設概要

所在地・・・矢吹町曙町 17 番地

構造、階数・鉄筋コンクリート造、2 階建て

延床面積・・・1,161.82 m²

開館・・・昭和 48 年 6 月

施設内容・・・1 階：和室、仲よし談話室、会議室、調理実習室、展示室、ホール
事務室

2 階：視聴覚室、講義室、大ホール(320 人収容)

別棟：陶芸室、作陶室

開館時間・・・午前 9 時～午後 9 時 30 分

(10 月～3 月は午後 9 時まで、日・祝日は午後 5 時まで)

(休館日：第 3 日曜日)

駐車場・・・約 40 台

管理者・・・矢吹町教育委員会

職員数・・・職員 2 名、事務員 1 名、臨時職員 1 名、シルバー人材センター職員 1 名

耐震診断・・・平成 25 年度に実施。

診断結果・・・気象庁震度階 6 強～7 程度の地震に対して倒壊または崩壊する危険性が高い (Is 値^{※8}：0.28)。



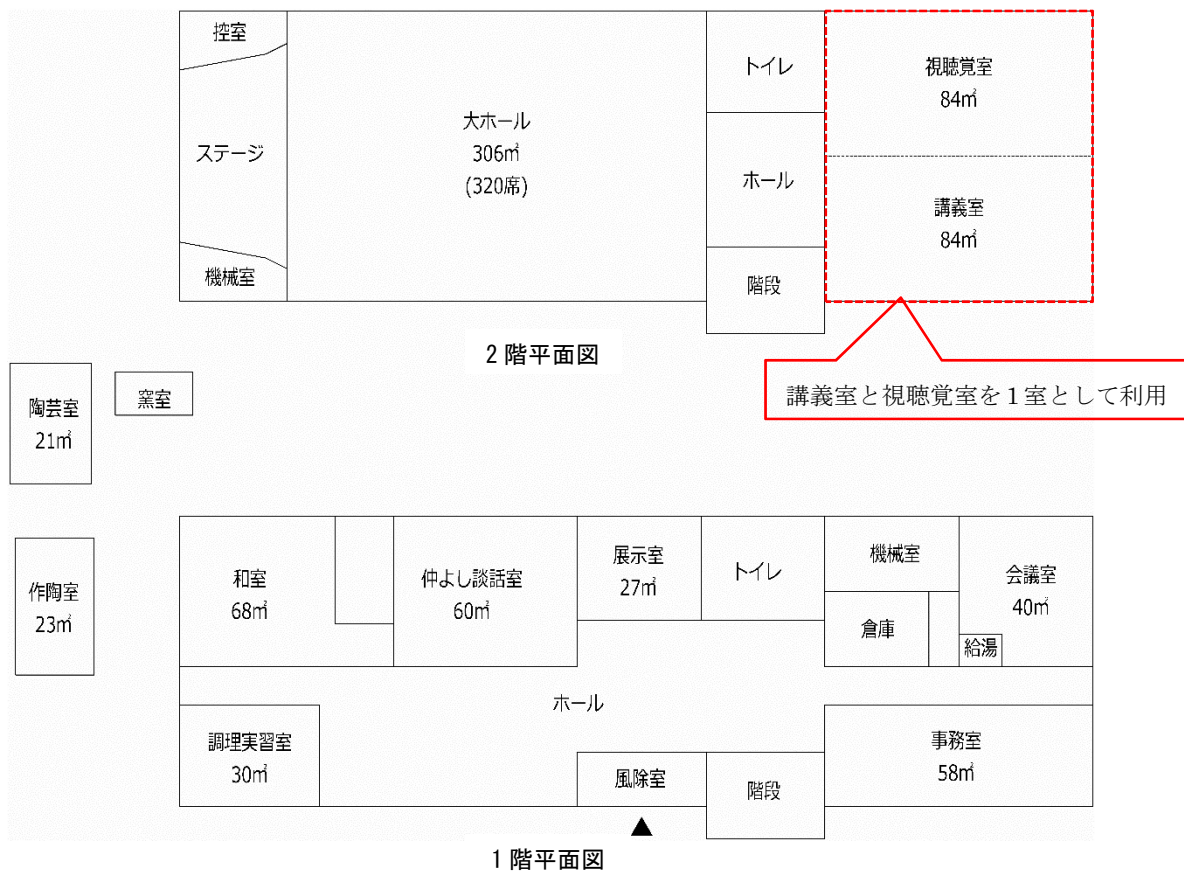
中央公民館外観

2) 諸室の概要

室名	配置	面積 (m ²)	収容人数	主な活動内容
和室	1 階	68	20 名	カラオケ、舞踏、詩吟、民謡、手芸、生花、絵手紙、楽器
調理実習室	1 階	30	調理台 2 台	調理
仲よし談話室	1 階	60	20 名	カラオケ、舞踏、体操、語学、楽器、ヨガ、リトミック
会議室	1 階	40	15 名	会議、民謡、川柳、俳句、趣味、語学、学習
展示室	1 階	27		作品の展示
講義室・視聴覚室	2 階	84+84=168		体操、太極拳、ダンス、吹矢、詩吟、民謡、書道、絵画、楽器
大ホール	2 階	306	320 名	本講座、講演会、合唱、ダンス
陶芸室、作陶室	別棟	21、23		陶芸

※7、8 参考資料 P72 参照

3) 各階平面図



大ホール



和室



講義室・视听覚室



調理実習室

(2) 主な中央公民館事業（平成 28 年度実績）

事業名			実施時期		対象者
青少年地域活動事業	矢吹ジュニア げんきクラブ		毎月 第 1 日曜日		小学生
	シニアリーダー		年間		中・高校生
外国語教室事業	英会話教室		5 月～9 月		一般
	日本語教室		年間		一般
ことぶき大学	本講座		年間 12 回 町内在住概ね 50 歳以上		町内在住 概ね 50 歳 以上
	分科部	舞 踊	第 1.3 月	10:00 ～ 12:00	
		編み物	第 1.3 水	9:30 ～ 11:30	
		詩 吟	第 1.3 木	13:00 ～ 15:00	
		書道①	第 1.3 金	9:30 ～ 11:30	
		書道②	第 1.3 金	13:00 ～ 15:00	
		版 画	第 1.3 金	13:00 ～ 15:00	
		体 操	第 2.4 土	15:00 ～ 16:30	
		民 謡	第 2.4 火	9:30 ～ 11:30	
		調 理	第 2.4 水	9:30 ～ 11:30	
		園 芸	第 2.4 水	13:00 ～ 15:00	
		生花①	第 2 木	13:00 ～ 15:00	
		生花②	第 4 木	13:00 ～ 15:00	
		川 柳	第 2 金	9:30 ～ 11:30	
		陶 芸	第 2.4 土	13:00 ～ 16:00	
		絵 画	第 3 土 最終日曜	13:00 ～ 15:00	
町民講座	子ども囲碁教室		7 月 26 日(火)～8 月 5 日(金)		小学生
	やぶき寺子屋(歴史)		9 月 1 日(木)～9 月 15 日(木)		一般
矢吹町・三鷹市子ども交流会			8 月 10 日～12 日 (2 泊 3 日) 矢吹町大池公園		町内子ども 育成会
高齢者まちづくり参加事業			7 月～2 月		幼稚園児 小学生
あゆり祭			10 月 3 日(月)～11 月 30 日(水) 参加団体 63 団体		町民
シニアクラブ 事業	男の悠遊塾		5 月～3 月		50 歳～75 歳

(3) 諸室の利用状況

1) 平成 28 年度月別利用状況

	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
調理実習室	3	45	2	28	7	97	4	50	8	61	6	66
和室	30	325	27	268	30	414	31	320	30	269	37	401
仲よし談話室	34	256	26	195	36	383	37	258	26	183	33	256
会議室	25	183	29	244	35	380	39	280	30	215	38	325
講義室												
視聴覚室	48	514	48	495	51	691	47	551	51	724	46	481
大ホール	9	352	5	208	9	386	7	243	9	329	10	380
作陶室	1	3	2	9	0	0	2	9	3	25	2	19
陶芸室	2	6	2	9	2	10	2	10	2	8	1	5
合 計	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
	152	1,684	141	1,456	170	2,361	169	1,721	159	1,814	173	1,933

	10月		11月		12月		1 月		2 月		3 月		合 計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
調理実習室	4	48	6	61	6	66	9	97	5	65	7	81	67	765
和室	33	304	28	288	26	254	20	185	32	349	32	346	356	3,723
仲よし談話室	28	215	17	275	25	185	27	193	34	275	35	251	358	2,925
会議室	36	254	36	214	24	158	24	153	34	254	33	244	383	2,904
講義室														
視聴覚室	42	479	14	724	42	386	40	365	47	523	47	566	523	6,499
大ホール	15	483	13	323	4	169	4	199	5	224	8	353	98	3,649
作陶室	1	4	1	15	2	59	0	0	2	10	2	10	18	163
陶芸室	3	12	0	0	2	10	2	10	2	10	1	5	21	95
合 計	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
	162	1,799	115	1,900	131	1,287	126	1,202	161	1,710	165	1,856	1,824	20,723

利用団体数で見ると、最も多く利用されているのは「講義室・視聴覚室」で、523 団体です。次に多いのが、「和室」、「仲よし談話室」、「会議室」となっています。「大ホール」は団体数 98 団体に対して利用者数が 3,649 人となり、1 団体当たりの利用者数が多いことが考えられます。また、作陶室や陶芸室などは用途が限られているため、団体数・利用者数ともに少なくなっています。そのほか、ホール、展示室でも年間を通じて各種の作品展が開催されており、ホールでは、11 回の展示が行われ、1,123 人の参観者が来館、展示室では 12 回の展示、1,368 人の参観者が訪れています。

(4) 利用団体について

平成 29 年 4 月 1 日現在、下記の 84 団体を含め、104 団体が登録しています。



矢吹町
サークル団体紹介

平成29年4月現在、矢吹町でサークル活動をしている団体等の紹介です。
興味・関心のある方、参加希望の方は団体への連絡等を教育振興課がサポートしますので、下記までお問い合わせをお願いします。

お問合せ 矢吹町教育委員会教育振興課
TEL44-4400 FAX44-4401

矢吹町書道愛好会 場所：中央公民館 ふるさとの森芸術村 会員数：50名 活動：あゆり祭出張展	矢吹町郷土史研究会 場所：中央公民館 会員数：26名 活動：歴史調査研究 史談会 研究発表
矢吹民謡愛好会 場所：中央公民館 会議室 時間：第1・3月曜日 19～21時 会員数：6名 活動：あゆり祭参加	富久美会 会員数：80名 活動：12支部が各自に練習。 カラオケ 民謡 三味線等 県大会参加
三味線矢豚会 場所：中央公民館会議室 時間：第2・4月曜日14～16時半 会員数：15名 活動：市町村文化祭に参加 介護施設ボランティア訪問	富久美会さくら支部 場所：中央公民館和室 時間：第2・4月曜日10～12時 会員数：4名 活動：年回りの発表会

サザンクラブ(カラオケ) 場所：中央公民館、社会福祉会館 時間：火：13～15時、19～21時 会員数：12名 活動：町内カラオケ大会等	神田カラオケクラブ 場所：三神公民館 時間：第1・3土曜日 19～21時 会員数：6名 活動：歌唱レッスン 紅白歌合戦、あゆり祭参加	阿部クラブ(ソフトボール) 場所：町内グラウンド 時間：4～9月 週2回程度 19～21時 会員数：18名 活動：町大会参加 青少年健全育成、地域貢献が目的	NPO法人極真カラテ道場 場所：矢吹本部道場 (ドコモショップ隣) 時間：幼児・小学生・一般 女子によって異なります 会員数：約100名 目標：健康維持 大会参加
園歌謡教室 場所：中央公民館 時間：金曜日 18時半～21時 会員数：10名 活動：町紅白歌合戦 県南同好会 県大会 ナツメ人口大会等	カラオケめばえ 場所：中央公民館和室 時間：第1・2・3水曜日19～21時 会員数：10名 活動：歌唱レッスン あゆり祭参加	ウエスト白河(ソフトボール) 場所：大池球場、矢吹小 時間：日曜日9～12時 木曜日19～21時 活動：県大会出場 ※全国大会出場経験あり	矢吹バドミントンクラブ 場所：矢吹中学校体育館 時間：土曜日 19～21時 会員数：22名 活動：バドミントン練習 各種大会等に出場
あぶくまギタークラブ 場所：中央公民館(矢吹・白河) 時間：土曜日 13～15時 会員数：7名 活動：市町村音楽行事 町事業に参加	大池歌謡クラブ 場所：大池漁港 時間：第1・2・3金曜日19時半～ 会員数：9名 活動：歌唱レッスン 町・県南のイベントに参加	大和クラブ(ソフトボール) 場所：大池球場など 時間：4～9月(ナイター) 会員数：16名 活動：町大会参加 即員みんなで楽しく活動しています	矢吹グラウンドゴルフクラブ 場所：善導小学校グラウンド 矢吹球場 会員数：55名 活動：楽しく活動します 町長杯・町民杯大会等
ストリングスやぶき(弦楽) 場所：中央公民館 文化センター 時間：第2土曜日(ピアノ) 第2土曜日(チェロ) 第1土曜日(全体) 会員数：6名	シャラヨガ矢吹 場所：ふるさとの森 時間：第1・2・4火曜日14～15時半 会員数：15名 活動：和気あいあいの雰囲気 男性も大歓迎です	矢吹町ゲートボール協会 場所：あゆり温泉 ゲートボール場 時間：毎週月・水(半日) 毎週金・土(午後) 会員数：26名 活動：町内外大会に参加	ひまわり(バレーボール) 場所：善導小学校体育館 時間：19～21時 (フレンズと合同練習) 活動：白河県連(バレーボール) 連盟に加盟し、町内外の各種 大会や交流会に参加
サークルドルチェ(弦楽) 場所：中央公民館 時間：不定期(月2回程度) 会員数：10名程度 活動：バイオリンの練習	矢吹大極拳倶楽部 場所：中央公民館 時間：土曜日 10～12時 会員数：12名 活動：心身の鍛錬 気功の呼吸法	あゆり(バレーボール) 場所：善導小学校体育館 時間：日曜日 19～21時 会員数：14名 活動：ママさんバレー 目標は、FTVバレー 町大会や男女も練習可	矢吹クラブ(バレーボール) 場所：善導小学校体育館 時間：毎木 19時半～21時 会員数：10名 活動：町民体育祭に参加 会員以外の方も参加可 初心者大歓迎です
善導小保護者バンド(音楽) 場所：善導小、中央公民館 文化センター 時間：不定期(月2回程度) 会員数：12名 活動：善導小音楽部共演	健康増進愛好会 場所：中央公民館 時間：金13時半～15時半 会員数：19名 活動：健康増進 親睦	NBZ(バレーボール) 場所：善導小学校体育館 時間：金曜日 19～21時 会員数：10名 活動：楽しくバレーがモットー	矢吹テニスクラブ 場所：町民テニスコート 時間：火曜日 木曜日19時～ 会員数：15名 活動：子供から大人まで楽しく
きさざき会(琴) 時間：各自週1回の稽古 会員数：10名 活動：あゆり祭・県音楽祭 県演奏会参加	パワーUP元気体操 場所：中央公民館 時間：月曜日 19～21時 活動：全身運動 下肢のダイエット体操	矢吹町シルバー 人材センター卓球部 場所：中畑公民館 時間：土曜 火曜13～15時 会員数：20名 活動：健康増進と親睦を図る	矢吹町卓球愛好会 場所：矢吹中学校体育館 時間：土曜日19～21時 会員数：10名 活動：健康維持
初音会(歌曲) 場所：代表者宅 時間：月・木 10～19時 会員数：6名 活動：生田流歌曲と宮城道雄の 歌曲を正しく継承しています	ヨガ・サークル・アーサナ 場所：【夜】5区集会所 【昼】中央公民館 時間：木曜日19時半～21時 第1・3木曜日13時半～15時 活動：ヨガの瞑想 体操 呼吸法		

コールあゆり(合唱) 場所：中央公民館ホール 時間：第2・4土曜日 13～15時 会員数：18名 活動：あゆり祭・県南女子音楽祭	花柳流寿々蘭会 場所：中央公民館 時間：月曜日18時半～20時半 会員数：6名 活動：あゆり祭・県南女子音楽祭 施設訪問ボランティア等	矢吹町諸流茶道連合会 場所：大池公園日本庭園 時間：不定期 活動：遠足会、あゆり祭 真夏の夜の鼓動等	ホームあかぎ(トールペイント) 時間：金曜13時～16時 火曜13時半～16時半 水・木・金 9～12時 会員数：30名 活動：ウェルカムボード作成等	県南生協矢吹こーぶ委員会 場所：中央公民館調理室 時間：第4水曜日 10時～ 会員数：25名 活動：健康調理 定例会 生協からのお知らせ	NPO法人響ネット 場所：こどもをの城 時間：不定期 活動：あゆり祭・県南女子音楽祭 地域づくり 芸術文化振興
コーラスやぶき(合唱) 場所：文化センターホール 時間：毎週木曜 19～21時 会員数：13名 活動：主にアカペラ、大会参加 施設訪問ボランティア等	矢吹スポーツ民謡ひまわり会 場所：中央公民館 なかよし談話室 時間：第2・4月曜日 10～12時 会員数：10名 活動：あゆり祭 県や全道の民謡民舞大会	ふるさとの森芸術村舞芸サークル 場所：ふるさとの森芸術村 時間：水曜日(隔週水曜日) 木曜日(毎週)、土曜日(毎週) 会員数：8名 活動：手踊り、あゆり祭等	心仏倶楽部 場所：中央公民館 時間：毎月15日(安永) 会員数：8名 活動：年4・5回の撮影会 作品展覧 勉強会等	おはなしボランティアサークル 【おひさま】 場所：矢吹町図書館 時間：第2金曜日 10時～ 会員数：8名 活動：お話し会 絵本の読み聞かせ 手遊び・歌遊び 紙芝居等	NPO法人響ネット 場所：こどもをの城 時間：不定期 活動：あゆり祭・県南女子音楽祭 地域づくり 芸術文化振興
トロー・リール(合唱) 場所：文化センターホール 時間：毎週木曜 19～21時 会員数：20名 活動：合唱連誼関連の行事 全日本おかしなコーラス大会等	ジャディス愛好会りんどう 場所：中央公民館 講義室 時間：第1・2・3月曜日 10～12時 会員数：4名 活動：楽しみながら健康促進	中畑書画会(書道) 場所：中畑公民館 時間：第1木曜、第4火曜19～21時 会員数：14名 活動：あゆり祭・県音楽祭 ふるさとの森作品展等参加	矢吹園芸クラブ 場所：矢吹町小松 時間：木曜、日曜13～17時 会員数：10名 活動：自由対局 人数が集まれば、大会実施	おはなしボランティアサークル 【おひさま】 場所：矢吹町図書館 時間：第2金曜日 10時～ 会員数：8名 活動：お話し会 絵本の読み聞かせ 手遊び・歌遊び 紙芝居等	NPO法人響ネット 場所：こどもをの城 時間：不定期 活動：あゆり祭・県南女子音楽祭 地域づくり 芸術文化振興
童謡クラブ(合唱) 場所：中央公民館 大ホール 時間：第2・4金曜日 10～11時半 会員数：21名 活動：あゆり祭等に参加	ジャディス愛好会ひまわり 場所：中央公民館 講義室 時間：第1・2・3火曜 19～21時 会員数：4名 活動：様々な曲に合わせて 楽しくダンシング！	矢吹カメラ愛好会 場所：中央公民館会議室 時間：第2火曜 19～21時 第1日曜 10～12時 会員数：26名 活動：あゆり祭・展示会等	かえるっばクラブ 場所：中央公民館会議室 時間：第2火曜日※変更有 会員数：14名 活動：自分たちでやりたいことを 決めて楽しく活動	矢吹断酒新生会 場所：中央公民館会議室 時間：第2・3・4土曜日 9～20時30分 会員数：15名 活動：具ししゃなげ会参加	ShuN-R@n GIRLS☆ (矢吹町PT連合会) 場所：中央公民館なかよし談話室 時間：毎週金曜日19時～ 会員数：9名 活動：イベント・ライブ 町PR
矢吹ヶ原グリークラブ(合唱) 場所：文化センター 時間：第1・3火曜日 19～21時 会員数：17名 活動：男声合唱 まもなく結成20周年	矢吹ステップクラブ(ダンス) 場所：中央公民館、大井食堂 時間：木曜日 19～21時 会員数：10名 活動：ダンスパーティーの参加	Lの会 場所：中央公民館 時間：連絡して活動日を決定 会員数：13名 活動：会員の特技、趣味を生かした 内容、ランチや音楽等	矢吹新樹会 場所：中央公民館会議室 時間：第1土曜日 13～16時 会員数：15名 活動：県内の俳句大会参加 時行	フレッシュママクラブ 場所：中央公民館 時間：毎月1回 会員数：25名 活動：育児相談・情報交換 野外活動健全育成活動	ボーイスカウト 福留道連矢吹第1回 場所：中央公民館 時間：第3日曜、第4土曜 会員数：12名 活動：町事業へ参加・協力 野外活動健全育成活動
北陸太鼓 場所：文化センター 時間：金曜日 20時頃 会員数：10名 活動：町内外のイベント出演 町内ボランティア訪問	フラすみれクラブ 場所：中央公民館5区集会所 時間：金曜日 19～21時 会員数：13名 活動：フラダンスの練習 介護施設等へボランティア	矢吹カメラ愛好会 場所：中央公民館会議室 時間：第2火曜 19～21時 第1日曜 10～12時 会員数：26名 活動：あゆり祭・展示会等	まつかさ川柳会 場所：中央公民館会議室 時間：第3水曜日 13時半～15時 会員数：8名 活動：あゆり祭「川柳展」 他川柳会と交流例会	キラキラおひさまクラブ 場所：中央公民館 時間：第2・3・4土曜日 9～20時30分 会員数：15名 活動：具ししゃなげ会参加	町の案内人 場所：中央公民館会議室 時間：第3水曜日13時半～15時半 会員数：10名 活動：町内の史跡案内 学校の補助学習等
昭和歌謡会 場所：1区自治会館 時間：昭和歌謡曲を愛唱 年1回の記念事業・発表会等	矢吹レクダンス愛好会 場所：中央公民館、5区集会所 時間：第2・3・4月曜13時半～15時 第1・2・3木曜10～11時半 会員数：36名	矢吹ペンクラブ 場所：中央公民館(部門別) 時間：不定期 活動：文芸誌発表 詩朗読	みちの1/2(半人前)句会 場所：ふるさとの森芸術村 時間：第3日曜 13時半～17時 会員数：10名 活動：句会 結句社(後句)	中国語愛好会 場所：中央公民館 なかよし談話室 時間：第2・4火曜 19～20時 会員数：6名 活動：中国語を学びます	矢吹婦人会 場所：中央公民館 時間：不定期 活動：ボランティア 料理 女性の意識向上の研修
夢子舞(よさこい) 場所：1区自治会館 時間：毎週金曜日19時半～ 会員数：10名 活動：小中学生中心のチームです	四季彩舞(よさこい) 場所：文化センター、中畑公民館 時間：毎週金曜日19時～ 会員数：25名 活動：親子三代で仲良く活動！	矢吹美術愛好会 会員数：15名 活動：スケッチ会 あゆり祭 詩朗読に参加	やぶき里山短歌会 場所：中央公民館会議室 時間：第4日曜 13時～15時 会員数：12名 活動：県短歌祭 矢吹文芸等	英会話喫茶“GET” 場所：大正ロマンの館 時間：第2・4日曜 10～12時 会員数：15名 活動：コピー・手紙に英会話	くるくるノーカース 会員数：12名 活動：若手農家との親睦 田んぼの学校協力

サークル活動には、ぜひ町内の公民館をご活用ください！ お問合せ：矢吹町中央公民館TEL42-2829 FAX44-4520

(5) 中央公民館の課題

①耐震性能不足

- ・耐震診断の結果、耐震性能の不足が明らかとなっている。

②老朽化の進行

- ・屋根、外壁からの雨漏。
- ・排水設備や冷暖房空調設備の老朽化。
- ・音響設備の老朽化。



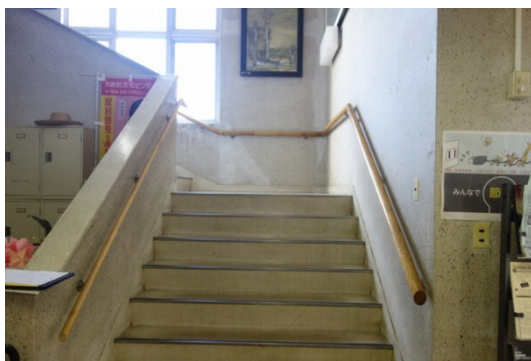
大ホール 壁面からの雨漏



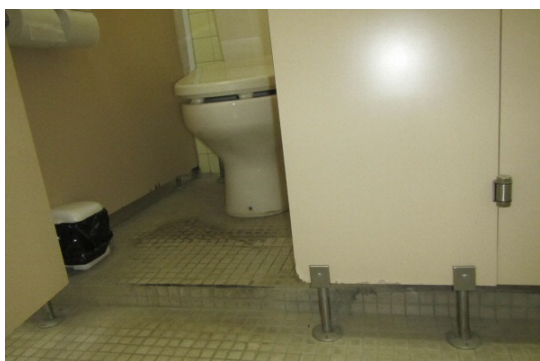
暖房設備は石油ファンヒーターを使用

③バリアフリー対策

- ・施設内の段差。
- ・高齢者や子どもには急な階段。
- ・エレベーター未整備。
- ・バリアフリー未対応のトイレ。



ホール階段



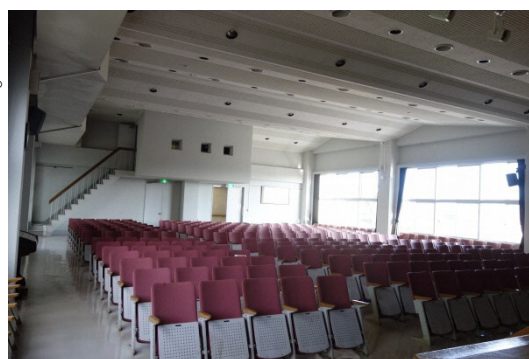
段差のあるトイレ

④時代の変化と共に利用者ニーズと相違してきた諸室構成、諸室の不足

- ・1団体の利用回数を月3回に制限。
- ・多目的に利用できない固定席の大ホール。
- ・講義室と視聴覚室を1室として貸出し。

⑤維持管理コストの増大

- ・老朽化による修繕費用の増大。



固定席を備える大ホール

2.5 図書館の現況

(1) 現況の整理

現図書館は、親しみやすい身近な図書館として、町内外から利用者が訪れていますが、J R 矢吹駅から約 700m 離れた住宅街の中に位置し、駐車場も少ない状況です。また、延面積約 600 m²の施設で約 72,000 冊ある蔵書を保管しており、かなり手狭な状況です。

1) 施設概要

所在地・・・矢吹町小松 481 番地

構造、階数・・・鉄筋コンクリート造、平屋建て

延面積・・・606.04 m²

開館・・・平成元年 4 月

施設内容・・・ホール、一般閲覧室、
資料コーナー (317 m²)

書架間隔 1.8m

学習室 24 席 (64 m²)

談話室 (40 m²)

新聞雑誌スペース 8 席

事務室 (25 m²)

児童コーナー (38 m²) 4 席

閉架書架 (38 m²)

開館時間・・・午前 9 時 30 分～午後 6 時

(休館日：月曜日、毎月最終金曜日)

指定管理者・・・特定非営利活動法人 ふれっしゅ・すてーじ

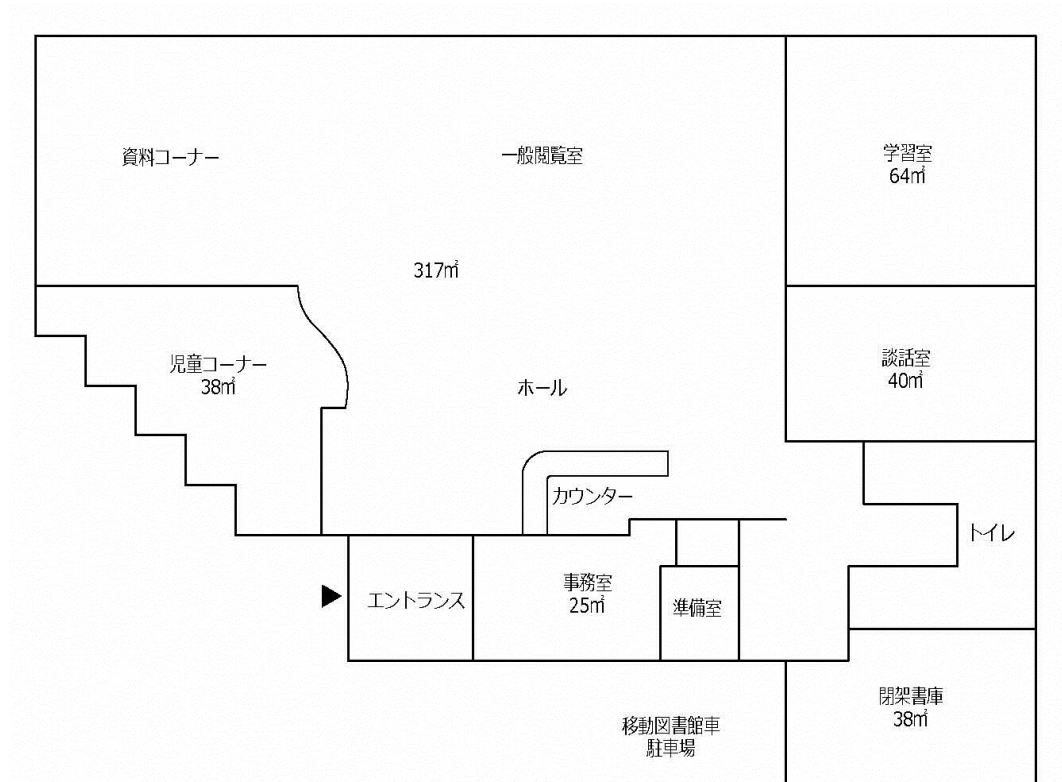
職員数・・・常勤 5 名 (内司書 3 名)、非常勤 2 名

蔵書数・・・約 72,000 冊



図書館外観

2) 全体平面図



図書館全景
吹抜けのあるワンルーム



開架書架
書架間隔 1.8m



受付カウンター



児童コーナー

3) 全町村立図書館平均との比較

	矢吹町図書館 (平成 27 年度)	町村立図書館 (平成 28 年度 日本図書館協会調査)	
図書館設置町村数		519	(全町村数 928)
町村立図書館総数		613 館	
人口	17,370 人	16,067 人	(591 町村平均)
貸出登録者数	10,229 人	8,814 人	(613 館平均)
人口に対する登録割合	58.88%	54.85%	
町内(自治体内) 有効登録者数	1,890 人	2,425 人	(613 館平均)
蔵書冊数	68,754 冊	77,479 冊	(613 館平均)
開館日数	290 日	—	
来館者数	22,291 人	39,132 人	(613 館平均)
貸出総冊数 個人	58,115 冊	77,898 冊	(613 館平均)
団体	10,387 冊	5,631 冊	(613 館平均)
図書受入冊数	2,161 冊	2,802 冊	(613 館平均)
資料費	3,190 千円	4,551 千円	(613 館平均)
延面積	606 m ²	889 m ²	(613 館平均)

全国平均と比べ、人口に対する貸出登録者数の割合は多い。その他、蔵書冊数、来館者数、延面積ともに全国平均を下回っている。

4) 蔵書の内訳

一般図書	約 43,000 冊	
児童図書	約 29,000 冊	
合計	約 72,000 冊	(平成 29 年 7 月現在)

閉架書架	約 22,000 冊
開架書架	約 50,000 冊

(2) 主な事業内容

○移動図書館車：よむよむ

町内保育園、幼稚園、小学校、児童クラブなどを対象に各施設を巡回して貸し出しをしています。



移動図書館車「よむよむ」

○おはなし会

乳幼児、児童、大人、親子など年齢別に応じて、さまざまなおはなし会を催し、子供の情操を豊かに育み、保護者の育児支援や情報交流の場となっています。また、町内の病院に訪問し、心のリハビリや活性化に繋がる取組みを実施しています。

○手作り絵本教室

夏休み期間に小学生、幼児と親子などの教室を開催し、自分だけの絵本を作る楽しさを知るとともにその技術も学びます。

○図書館だよりの発行

- ・毎月1回 「こどもとしょかんだより」
- ・年4回 「図書館だより（季刊）」
- ・2カ月に1回 「子育て情報誌」⇒子育て支援課と連携

上記の冊子を発行し、行事案内や新刊図書・話題の本の紹介などを通し、図書館への興味・関心を高めながら、より一層の利用者拡大を図るための広報活動をしています。

○さわやか詩集の発行と表彰

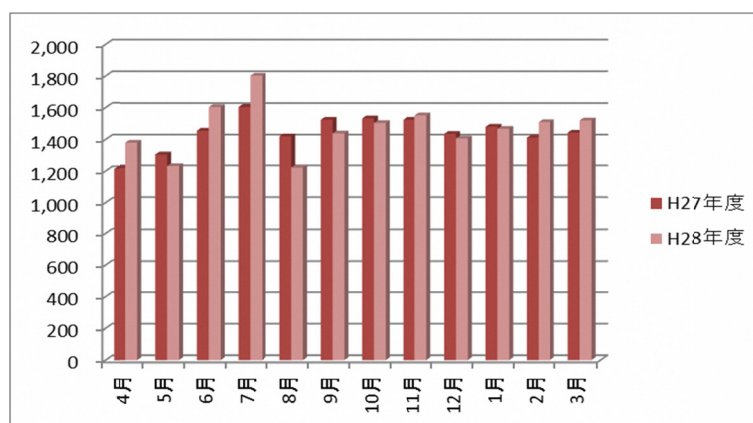
- ・町出身の詩人(故)大滝清雄(おおたき きよお)氏の功績を讃えると共に、大滝清雄文庫の開庫を記念して、町内全ての小・中学校から詩を募集し「さわやか詩集」を毎年発行しています。詩集は応募作品の全てを掲載し、応募者全員に贈呈しています。
- ・審査により、優秀作品を選定し、表彰式を開催しています。
- ・表彰式に合わせて、子どもたちのためのコンサートや講演会等を開催しています。

(3) 貸出人数、貸出冊数の推移

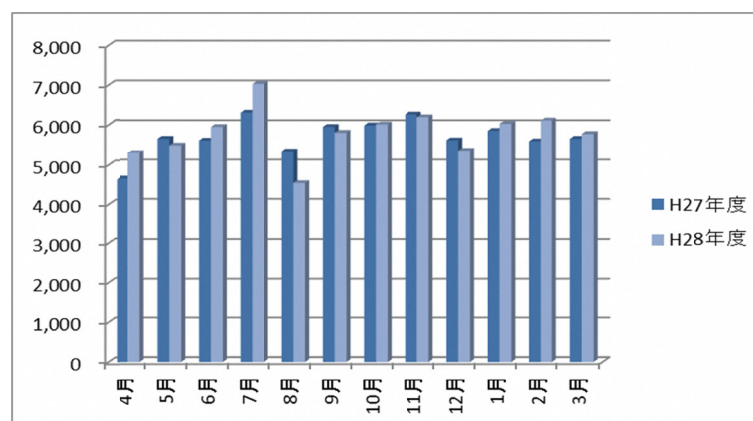
1) 図書館利用状況

月別	開館日数		来館者数		貸出人数		貸出冊数	
	H27年度	H28年度	H27年度	H28年度	H27年度	H28年度	H27年度	H28年度
4月	25	25	1,544	1,537	1,215	1,381	4,642	5,292
5月	24	22	1,577	1,309	1,299	1,226	5,654	5,487
6月	20	22	1,676	1,640	1,456	1,606	5,612	5,956
7月	26	26	2,102	2,120	1,607	1,803	6,318	7,034
8月	25	25	2,230	2,029	1,420	1,217	5,335	4,527
9月	25	25	2,036	1,808	1,525	1,439	5,956	5,806
10月	26	25	1,862	1,518	1,534	1,505	5,994	6,021
11月	24	25	1,994	1,775	1,526	1,553	6,274	6,200
12月	23	23	1,788	1,501	1,436	1,407	5,617	5,350
1月	23	22	1,731	1,459	1,481	1,468	5,855	6,035
2月	23	23	1,811	1,743	1,413	1,511	5,591	6,120
3月	26	26	1,940	1,892	1,444	1,521	5,654	5,777
合計	290	289	22,291	20,331	17,356	17,637	68,502	69,605

2) 貸出人数推移



3) 貸出冊数推移



来館者数から見ると、貸出人数・貸出冊数ともに安定した推移を示していますが、開館時間を延長することにより、働いている方や中高生の利用が増える事が予想され、更なる利用者の増加が期待されます。

(4) 図書館の課題

①施設へのアクセス方法

- ・住宅街にあり、場所が分りにくい。
- ・利用しにくい駐車場（駐車間隔が狭い、未舗装部分あり）。



道路に面した南側駐車場（8 台）



建物北側駐車場

②施設の面積不足

- ・蔵書数増加に伴う書架の不足、作業スペースの不足。
- ・自主学习利用者の増加による学習スペースの混雑。
- ・幼稚園や保育園、小学校の団体利用者受け入れ時のスペース不足。



ロッカー室と併用するなど手狭な作業スペース



収蔵能力を超えている閉架書庫

③バリアフリー対策

- ・バリアフリー未対応のトイレ。

④開館時間の拡充

- ・午後 6 時以降の開館時間への対応。

2.6 子育て関連施設の現況

(1) 現況の整理

JR矢吹駅東口に立地する矢吹町屋内外運動場「未来くるやぶき」（以下、未来くるやぶきという）の2階に子育て支援センター「にこにこ広場」が整備されており、小さなお子さんを連れた方々が多数利用し、好評を得ております。また、町内にある「認定こども園 ポプラの木」でも子育て支援を行っており、活動を通じ保護者間の交流や、子育て相談なども行っています。

1) 未来くるやぶき

①施設概要

所在地・・・・矢吹町小松 14 番地

開館・・・・平成 27 年 3 月

施設内容・・・・

【体育館棟】構造：木造 2 階建て

延面積：825.89 m²

施設内容：屋内遊び場、砂場、多目的トイレ、にこにこ広場など

【付属棟】構造：木造平屋建て

延面積：121.96 m²

施設内容：更衣室（男女）、トイレ（男女）、用具庫

【フットサルコート】延面積：1,295.4 m² 施設内容：人工芝、屋外照明 4 基

開館時間・・・・①運動場、にこにこ広場 午前 10 時～午後 5 時まで

（完全入替制を導入 午前 10 時～午前 11 時 30 分、

午後 1 時～午後 2 時 30 分、午後 3 時～午後 4 時 30 分）

②フットサルコート：午前 10 時～午後 9 時まで

（休館日：毎週月曜日、月曜日が祝日となる場合その翌日が休館日）

利用料金・・・・①運動場：無料（利用対象 0 歳～小学 3 年生）、保護者同伴

②フットサルコート：有料

駐車場・・・・敷地内 8 台分

一般利用者は、隣接する駅前東口第 1 駐車場（2 時間無料）を利用



未来くるやぶき外観



未来くるやぶき内観



にこにこ広場

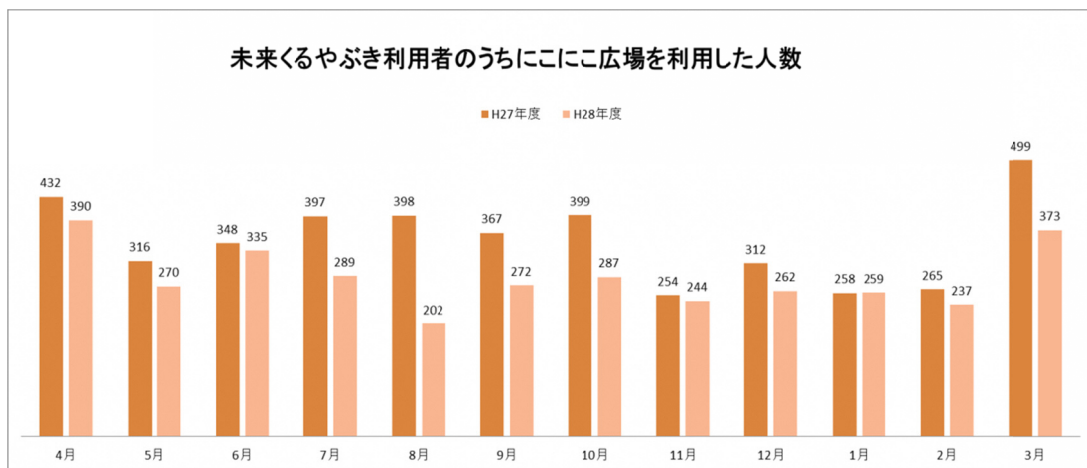
②子育て支援センター「にこにこ広場」の活動内容

未来くるやぶきの2階に開設し、町内在住の未就園児とその保護者を対象に、親子での自由あそび、季節の製作、絵本の読み聞かせや絵本の紹介、赤ちゃんのふれあい遊び、運動遊び、子育て講座（お話会、ベビーマッサージ、場外活動等）を行っています。

③未来くるやぶき 施設の利用状況

	平成27年度		平成28年度	
	利用者数	にこにこ広場 利用者数	利用者数	にこにこ広場 利用者数
4月	3,882	432	4,077	390
5月	3,747	316	4,142	270
6月	4,472	348	4,252	335
7月	4,555	397	5,814	289
8月	4,576	398	4,975	202
9月	3,485	367	4,551	272
10月	3,647	399	4,186	287
11月	3,770	254	3,649	244
12月	3,025	312	3,258	262
1月	3,628	258	3,718	259
2月	3,490	265	3,924	237
3月	4,849	499	4,988	373
合計	47,126	4,245	51,534	3,420

※個人・団体・フットサルコート・見学者等を含む



未来くるやぶきの利用者数は増加傾向にあります。その中で「にこにこ広場」を利用した人数を比較すると、減少傾向にあります。今後、子育て支援を担う機関や団体と連携しながら「にこにこ広場」での子育て支援活動を広報し、利用者の増加を図ります。

2) 認定こども園ポプラの木 子育て支援室

①施設概要

所在地・・・矢吹町本町 142 番地

開館時間・・・〈月～木曜日〉

園舎内 2階子育て支援室

午前 9 時～午前 11 時 30 分

午後 1 時～午後 3 時

午後 3 時 30 分～午後 4 時 30 分

〈金曜日〉

出前保育 午前 10 時～午前 11 時

第 1・3 三城目集落センター、

第 2・4 中畑公民館

担当職員・・・主任 1 名、常勤 2 名、事務兼任 1 名



ポプラの木外観・園庭

②活動状況

利用者・・・午前：8～10 組、午後：2～3 組程度

活動内容・・・読み聞かせ、親子製作・クッキング、発育測定、お誕生会
飲み物（お茶）や雑誌を揃え、保護者同士が交流できる
支援員による子育て相談



子育て支援室
(プレイスペース)



子育て支援室
(ベビーベッド)

2.7 観光交流施設の現況

(1) 現況の整理

1) やぶき観光案内所

①施設概要

所在地・・・矢吹町中町 235 番地 4（J R 矢吹駅舎内）

開所日・・・平成 27 年 6 月 25 日

矢吹駅 1 階のコミュニティープラザホール（貸室）を観光案内所としてオープン。

延面積・・・199.6 m²

開所時間・・・午前 8 時～午後 5 時

定休日・・・年末年始、不定休

指定管理者・まちづくり団体 豊夢基地（ホームページ）

職員数・・・4 名（内常勤職員 2 名）

活動内容・・・観光・イベント情報の案内、SNS 等を利用して町の魅力発信
イベント、企画展の実施

レンタサイクル事業

ご当地アイドル「ShuN-R@n GIRLS」による「しゅんらんチャンネル」
を公開生配信

ご当地キャラ「やぶきじくん」による観光PR

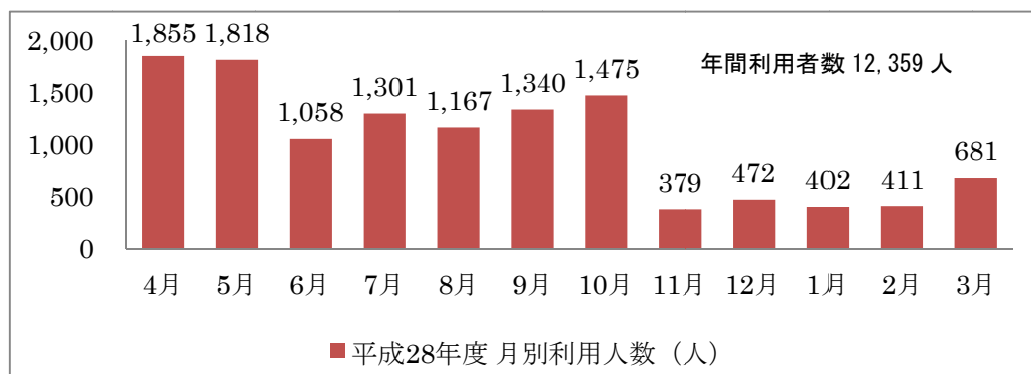


やぶき観光案内所外観



案内カウンター・ラウンジ

②利用状況



2) 第二区屋台収納庫

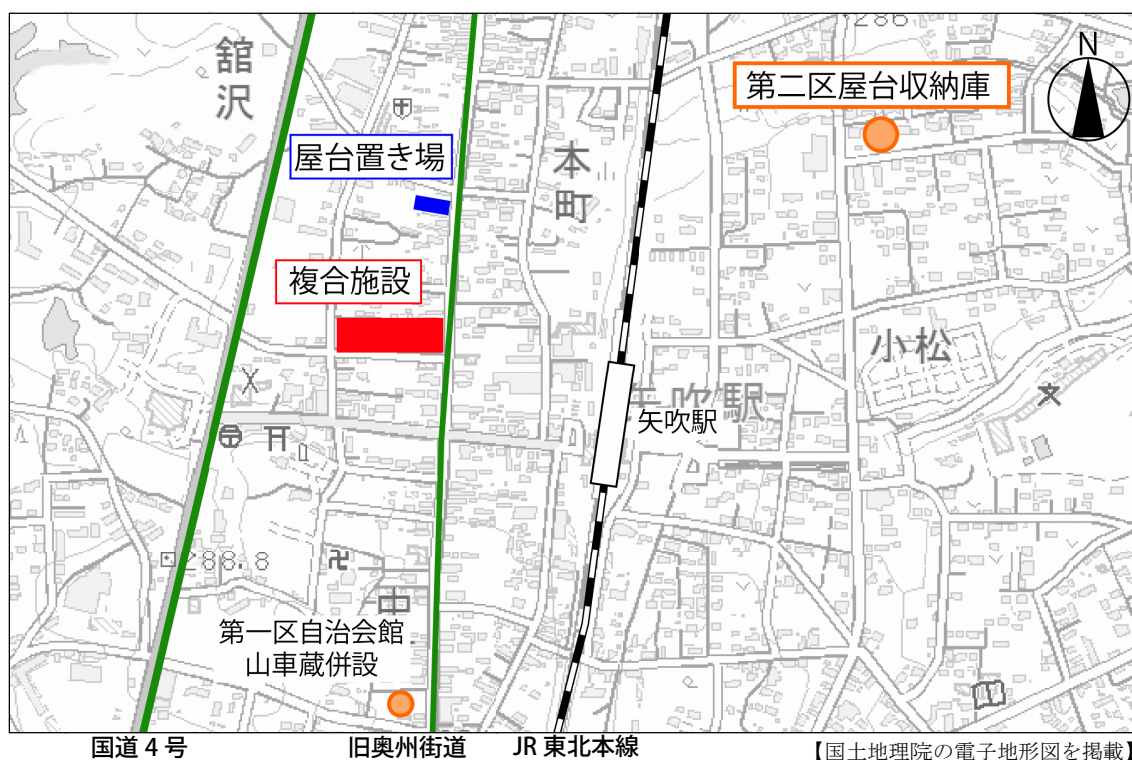
①施設概要

場所・・・矢吹町小松地内

延面積・・・約 33 ㎡

管理者・・・第二区自治会

屋台・・・1860 年につくられた歴史のある豪華な屋台です。回り舞台が内蔵され、約 幅 4.7m×奥行 8m×高さ 5.2m と大型の屋台である事から、大屋台と云われています。現在は分解して収納庫へ保存しています。



配置図



第二区屋台収納庫



屋台置き場

②「矢吹の秋まつり」について

2年に1度開催される矢吹の秋まつりは、第一区自治会（上町）の山車と第二区自治会（下町）の大屋台が旧奥州街道に繰り出し、太鼓演奏などを繰り広げます。

また、まつり最終日には、JR 矢吹駅近くの駅前交差点で、山車と大屋台の太鼓競演が行われます。太鼓演奏は両区とも子どもたちが担当し伝統を受け継いでいます。町外からも多くの見物客が訪れ、矢吹町の重要な観光資源となっています。特に第二区自治会の大屋台は、約 160 年前に作られた由緒ある屋台で、地域の宝となっています。



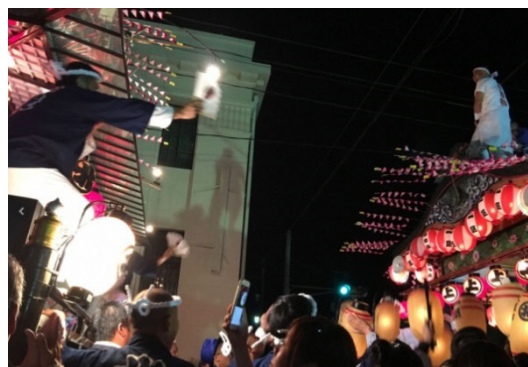
大屋台（傘揃い）



運行中の様子



太鼓演奏の様子



山車と大屋台の競演



（参考）第一区自治会館・山車蔵



（参考）第一区自治会館・山車蔵

3 要望の把握と整理

3.1 町民の生涯学習ニーズの把握

(1) 生涯学習推進計画策定のためのアンケート集計結果

1) 調査概要

- 調査目的 : 生涯学習を推進するのは町民であることから、生涯学習推進計画の策定にあたっては、何よりも町民の学習ニーズが尊重されなければならない、その的確な把握が不可欠となる。このため、生涯学習意識調査アンケートの実施により、町民の「声」に十分配慮した計画づくりを進める。
- 調査地域 : 矢吹町全域
- 調査対象 : 平成 29 年 4 月 1 日現在で 16 歳以上
- 調査対象者数 : 2,000 人
- 調査期間 : 平成 29 年 7 月 26 日～8 月 12 日 (8 月 31 日到着分まで集計)
- 回収数 : 584 人
- 回収率 : 29.2%

2) 調査結果の概要 (一部抜粋し掲載)

1. この1年間の間に、生涯学習を行ったことがありますか？

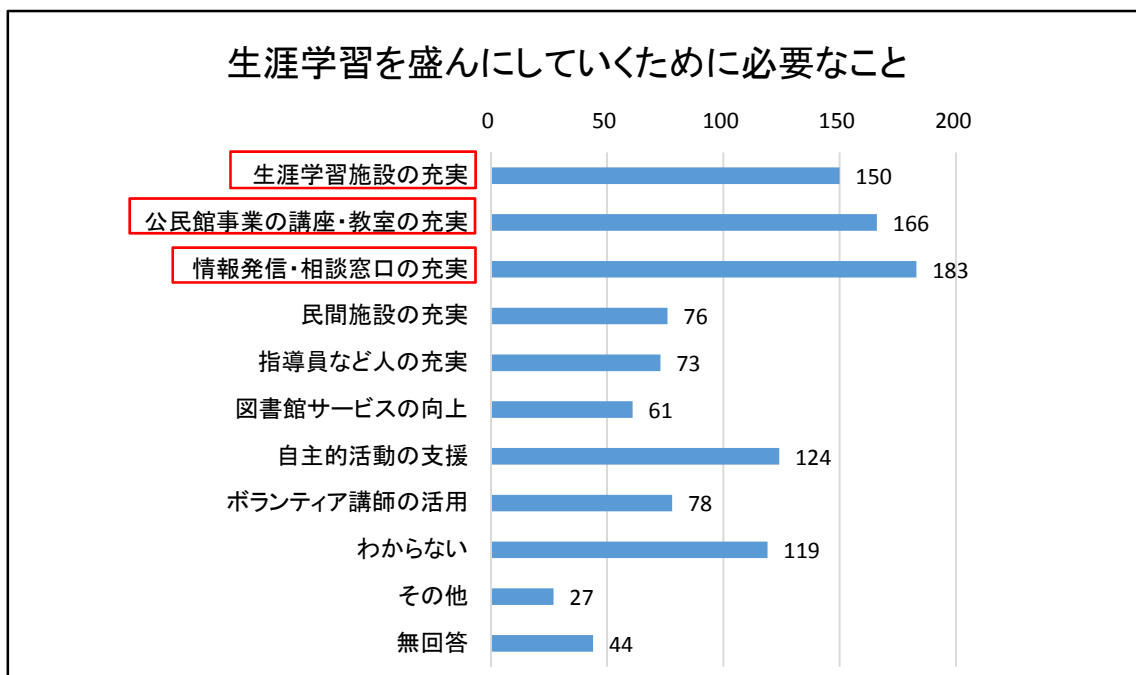
		ある	ない	無回答	合計	割合
総計		31% 182	68% 396	1% 6	584	100%
性別	男性	77	177	1	255	44%
	女性	105	218	2	325	56%
	無回答	0	1	3	4	1%
年代	19歳以下	8	12	0	20	3%
	20～29歳	12	26	0	38	7%
	30～39歳	20	53	0	73	13%
	40～49歳	26	60	0	86	15%
	50～59歳	22	61	1	84	14%
	60～69歳	42	85	1	128	22%
	70～79歳	38	63	2	103	18%
	80歳以上	14	36	1	51	9%
	無回答	0	0	1	1	0%

31%の方が1年間の間に生涯学習を行っています。年代別では「60～69歳」が22%と最も多く、60歳以上が49%と全体のほぼ半数を占めています。

14. 生涯学習を盛んにしていくために必要なこと

(複数回答)

		合計	割合	生涯学習施設の充実	公民館事業の講座・教室の充実	情報発信・相談窓口の充実	民間施設の充実	指導員など人の充実	図書館サービスの向上	自主的活動の支援	ボランティア講師の活用	わからない	その他	無回答
総計		1,101	189%	150	166	183	76	73	61	124	78	119	27	44
性別	男性	486	83%	64	57	87	31	38	27	60	34	53	15	20
	女性	612	105%	86	109	96	45	35	34	64	42	66	12	23
	無回答	3	1%	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1
年代	19歳以下	36	6%	9	4	5	4	3	1	3	3	3		1
	20～29歳	60	10%	11	4	9	2	2	5	8	7	7	2	3
	30～39歳	134	23%	24	15	25	14	11	6	8	7	19	4	1
	40～49歳	168	29%	27	24	39	15	7	7	15	12	11	7	4
	50～59歳	184	32%	23	33	32	13	17	11	20	12	12	3	8
	60～69歳	255	44%	33	44	45	20	16	13	34	14	21	7	8
	70～79歳	176	30%	15	29	21	6	12	12	27	14	27	2	11
	80歳以上	88	15%	8	13	7	2	5	6	9	9	19	2	8
	無回答	0	0%											



「情報発信・相談窓口の充実」が183人と最も多く、次いで「公民館事業の講座・教室の充実」166人、「生涯学習施設の充実」150人となっています。

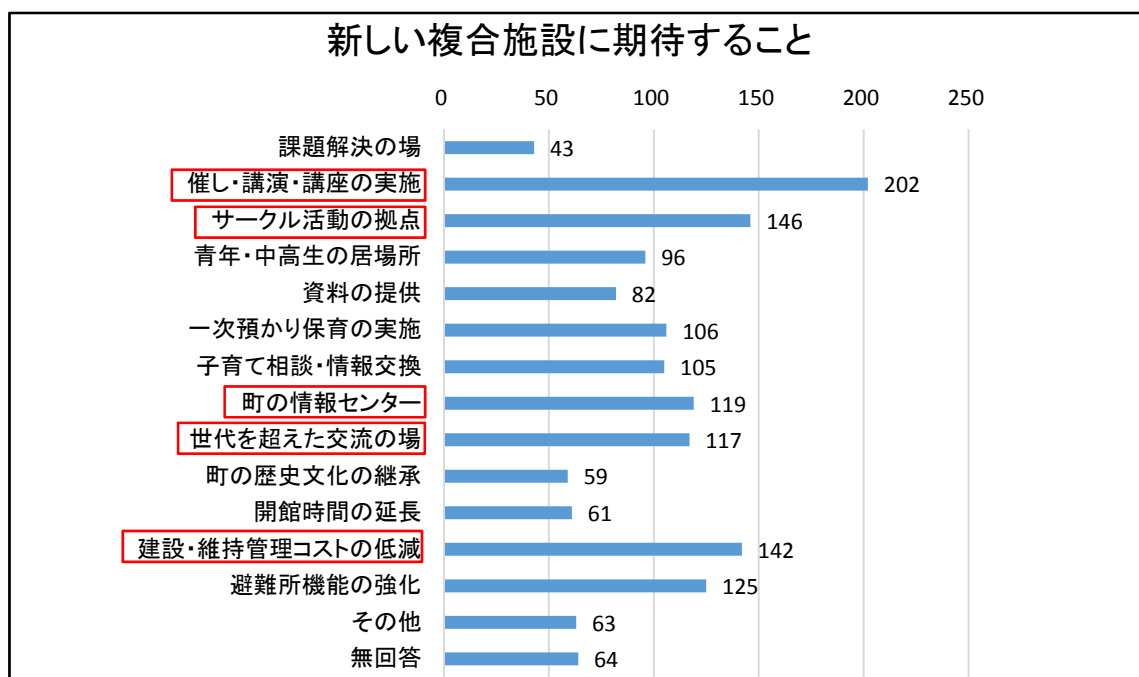
ソフト面^{※9}(運営)の充実が必要とされていると共に、ハード面^{※10}(施設環境)の充実も必要とされています。

※9、10 参考資料 P72 参照

15. 新しい複合施設に期待すること

(複数回答)

		合計	割合	課題解決の場	催し・講演・講座の実施	サークル活動の拠点	青年・中高生の居場所	資料の提供	一次預かり保育の実施	子育て相談・情報交換	町の情報センター	世代を超えた交流の場	町の歴史文化の継承	開館時間の延長	建設・維持管理コストの低減	避難所機能の強化	その他	無回答
総計		1,530	262%	43	202	146	96	82	106	105	119	117	59	61	142	125	63	64
性別	男性	694	119%	27	84	65	37	48	38	47	59	58	32	25	61	58	29	26
	女性	832	142%	16	118	81	59	34	68	58	59	59	27	36	81	67	33	36
	無回答	4	1%	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
年代	19歳以下	45	8%	1	6	1	8	3	2	2	2	2	2	4	5	5	1	1
	20～29歳	93	16%	2	10	9	6	7	9	10	5	7		6	8	7	2	5
	30～39歳	185	32%	4	32	19	5	9	30	24	7	8	3	7	14	14	4	5
	40～49歳	215	37%	4	34	24	18	13	12	14	16	13	2	15	23	15	8	4
	50～59歳	253	43%	9	33	24	17	10	13	15	19	19	9	16	23	19	18	9
	60～69歳	380	65%	9	42	37	27	24	27	27	32	33	19	8	40	32	10	13
	70～79歳	227	39%	8	28	24	7	10	10	9	26	20	14	2	22	19	12	16
	80歳以上	131	22%	6	17	8	8	6	3	4	12	15	10	3	7	14	7	11
	無回答	1	0%														1	



「催し・講演・講座の実施」が202人と最も多く、次いで「サークル活動の拠点」146人、「建設・維持管理コストの低減」142人となっています。

催し・講演・講座やサークル活動、子育て相談などで足を運び、世代の違う町民と交流したり、町の情報、歴史を伝えるなどの、総合的な役割を果たす多くの人々が集える場としての複合施設が期待されています。

建設・維持管理コストの低減についても、多くの方に期待にされています。

3.2 利用者・利用団体の意見や要望

(1) 中央公民館利用団体へのアンケート調査

1) 調査概要

- 調査名 : 複合施設建設に関するアンケートについて
- 調査目的 : 公民館利用者の実態を把握し、複合施設整備へ向けての基礎資料とするもの
- 調査対象 : 中央公民館及び地区公民館利用団体、個人の利用者
- 調査数 : 28 団体
- 調査期間 : 平成 28 年 12 月 20 日～平成 29 年 1 月 6 日

2) 公民館において、困っていること

《施設について》

- 施設全体の老朽化。
- 部屋数が少ない。
- 部屋の広さや数が利用者のニーズと合っていない。
- 段差などがあり、高齢者などは利用にあたり不便な面もある。
- 冷暖房について（効率、冷暖房費の負担）
- 設備の充実（鏡張りの壁、DVD、音響設備、照明、ロッカー、和室用イスなど）
- 園児用のイスや机が少ない。
- 大ホールや可動式の客席、間仕切り可能な汎用性が高い部屋が無い。
- 現公民館のロビー展示を一層利便性を高めたロビー展示を行いたい。

《運営について》

- 利用したい部屋が混み合っていて、使用できない時がある。
- できれば月 4 回利用したいが現在は月 3 回の制約がある。
- 公民館は特に職員の研修と社会教育指導員を置くなど、指導内容の充実も図るべきではないか。
- 閉館時間が利用者のニーズに合っていない。
- 子どもが多く利用するので、防犯や安全などを守るため明るい施設にして欲しい。
- 子どもがレッスンできる講座も開設して欲しい。

3) 複合施設への要望

- 出来るだけ、各団体の希望にこたえられる施設を望みます。
- 各施設共々老朽化が目立ちますが複合施設にすることに疑問があります。複合施設に対して駐車場が離れてはいませんか。
- 全施設にソーラー発電を設置して欲しい。
- 他の施設を利用する人達の流れを図書館がつくる、巡回できる施設として欲しい。
- 活気、にぎわいのある施設を造って欲しい。
- 復興支援で当町に訪れる方々を受け入れる場所もなかったなので、観光交流センター内に当町の紹介パンフ、地元製品の直売所等のエリアを設けて欲しい。
- 今までの公民館や図書館の跡地利用についても知りたい。有効活用が図られると良いです。
- きれいで便利な施設もいいのですが、あまり費用がかからない税金の無駄使いにならない方向で建設されることを望みます。
- 今までのサービスよりも低下されることの無いようにお願いします。
- 駅のコミュニティールームに代わる運動施設を作って欲しい。
- 説明会に参加して、その概要が分かりましたが、何か狭い場所に大金をかけてちまちまと押し込んでいる感じがしてなりません。
- 建物の内容については、理想に近いものとは思いますがせっかくの計画がわくわくするような「場所」でないと思える点に疑問が残ります。
- 矢吹町の歴史などが一目で分かるような外観は蔵作りとして中には展示品、書籍、写真また子ども達が語り部の話などが聞かれる囲炉裏辺のある部屋や、また会議室、談話室、講義室などがあればいいと思います。
- 機能と規模、財政負担の最小限化を考慮した施設づくりを要望したい。
- 横の連絡のつながりのため話し合える場があると良い。
- 子育て世代や公民館利用者の方などが一緒に軽食が取れる場所があると良い。

(2) 図書館利用者へのアンケート調査

1) 調査概要

- 調査名 : 平成 28 年度 図書館アンケート
- 調査目的 : 町民に親しまれ、地域に役立つ図書館を目指して、また、指定管理協定書に基づく外部評価として、意見や要望の把握のため実施するもの
- 調査対象 : 図書館利用者
- 調査数 : 127 人
- 調査期間 : 平成 29 年 1 月 14 日から 2 月 11 日

2) 図書館への主な意見や要望

《施設について》

- 駐車場が足りない。また、車間スペースも狭い。
- カフェコーナー（飲食スペース、自動販売機など）があると良い。
- 蔵書の多様化、冊数の増加。
- イス、机、テーブルだけでなくソファも欲しい。
- 利用者のおしゃべりがうるさい時がある。
- きれいに整理整頓、掃除がされていてとても心地が良い。
- 図書館をメインとする情報発信、交流の場とする。
- お話し会をする部屋や準備、練習、出し物を保管する場所が欲しい。
- 他の利用者に迷惑を掛けない防音の部屋。

《運営について》

- 開館時間、現在 18 時までを 19 時までにして欲しい。
- 利用者のマナー向上のための啓発活動をして欲しい。
- 貸出日数、現在 2 週間を 3 週間にして欲しい。
- 貸し出し用の袋を作って欲しい。
- 特設コーナーも楽しみの一つで注目しています。
- いつも丁寧な対応をして頂いてありがとうございます。

(3) 子育て世代へのアンケート調査

1) 調査概要

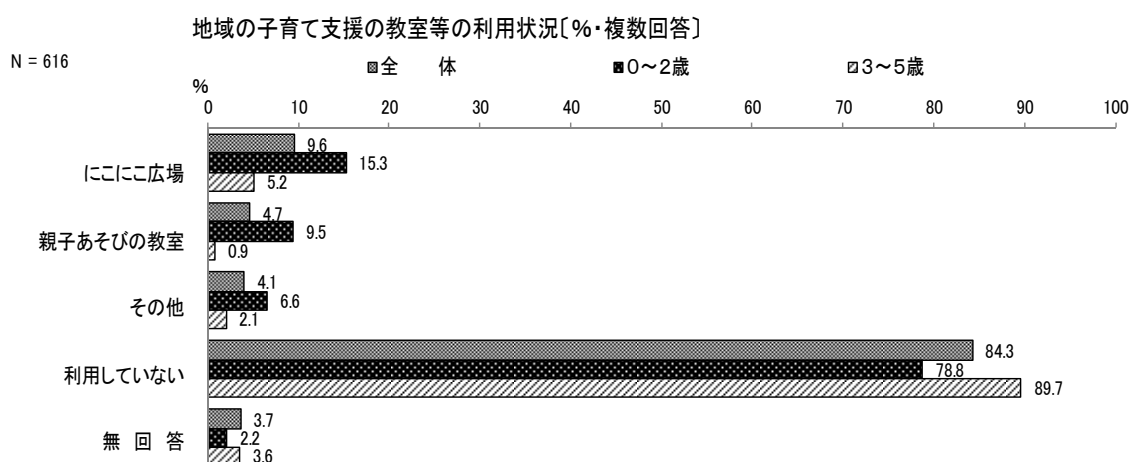
- 調査名 : 平成 26 年 3 月 矢吹町 子育てしやすい環境づくりを進めるためのアンケート
- 調査目的 : 「矢吹町子ども・子育て支援事業計画（仮称）」策定のため、町民の意見を反映するために実施するもの。
- 調査対象 : 就学前児童保護者、小学生児童保護者
- 調査方法 : 保育園、幼稚園、小学校の協力を得て、配布・回収
: 就園前児童の世帯には郵送による配布・回収
- 配布枚数 : 就学前児童保護者 895 枚、小学生児童保護 709 枚
- 回収数 : 就学前児童保護者 616 枚、小学生児童保護 636 枚
- 回収率 : 就学前児童保護者 68.8%、小学生児童保護 89.7%
- 調査期間 : 平成 25 年 12 月 1 日～12 月 16 日

2) 調査結果の概要（一部抜粋し掲載）

（４）地域の子育て支援の教室等の利用状況

問 13 お子さんは、以下のような地域の子育て支援の教室等を利用していますか。

「にこにこ広場」が 9.6%、「親子あそびの教室」が 4.7%である。「利用していない」は 84.3%である。「にこにこ広場」利用者の月利用回数の平均は 3.6 回で、「親子あそびの教室」は平均 1.1 回である。



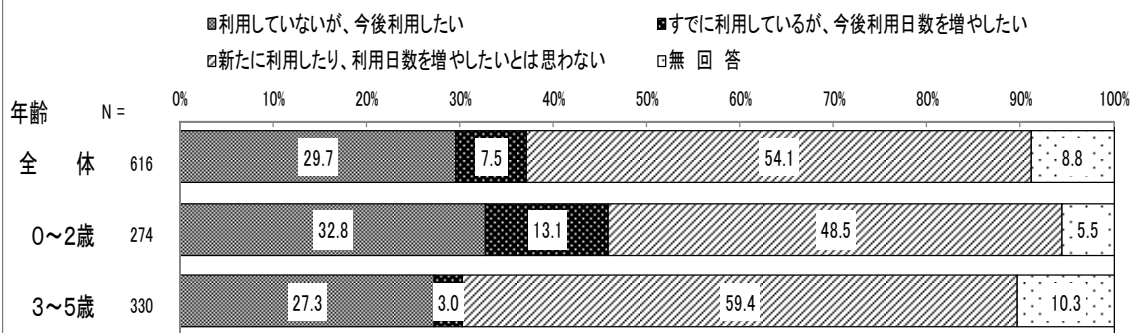
問 14 子育て支援の教室等を今後利用したいと思いますか。

「利用していないが、今後利用したい」は 29.7%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は 7.5%である。合計で 37.2%が今後の利用希望を持っている。「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 54.1%ある。

利用希望者の希望回数は1か月当たり平均 2.1 回である。利用日数を増やしたい場合の希望回数は1か月当たり平均 2.9 回である。

年齢別で0～2歳は「利用していないが、今後利用したい」「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が比較的多い。

子育て支援教室等の利用希望[%]



「にこにこ広場」が一番多く利用されています。0歳児から2歳児の未就園児の利用が多く、幼稚園入学前のお子さんや保護者たちの交流や活動の場としての役割を担っていると考えられます。

今後の利用希望を持っている方が 37.2%となり、施設や支援内容の充実により、更に多くの方たちに利用して頂くとともに、現在利用していない方たちにも施設の内容を周知することにより、利用者数増加に繋がると考えます。

(4) 認定こども園ポプラの木 ヒアリング調査

1) 調査概要

- 調査対象 : 岡村理事長 岡部園長
- 調査日 : 平成 29 年 6 月 15 日

2) 調査結果

《現在の課題・問題点》

- 毎日遊びに来るなどして、支援員との信頼関係を築いて初めて一時預かり保育が可能となる。子どものストレスとならないように行う必要がある。
- 保護者と良い関係が築けるような支援員の人材確保が重要である。
- 自分に合った子育て支援施設を保護者が選べるような環境づくりが必要である。保護者は「あの人に会いたい」と思って訪れる。
- コミュニケーションが苦手で外出して来ない保護者をどのように支援するかが課題となる。町内の乳幼児について情報を持っている保健師と連携が図れると良い。
- 昨年度未来くるやぶきで子育て支援室を運営したが、利用できるのは町内在住の保護者のみに限られる。故郷に帰省して出産する方なども対象にしてほしい。
- 子育て支援のワンストップサービス※11の場を目指してほしい。

《複合施設における新しい子育て支援機能への意見・要望》

- 支援員の配置人数にもよるが、同時に 10 組が利用する程度の環境が丁度良い。それ以上になると騒がしくなって落ち着かなくなってしまう。
- 事務・受付スペース、プライバシーが保たれた相談室、オムツ換えができる 2～3 台のベッド、授乳スペースが必要となる。
- 日光浴ができたり、水遊びができたり、緑が感じられるような開放的な造りとしてほしい（今の施設は窓の位置が高くて圧迫感がある）。
- 高齢者と交流できる場があると良い。
- 離乳食づくりを一緒にできるキッチンスペースがあると良い。

※11 参考資料 P72 参照

(5) 矢吹町第二区自治会 ヒアリング調査

1) 調査概要

- 調査対象 : 第二区自治会長 大野氏
- 調査日 : 平成 29 年 5 月 30 日

2) 調査結果

《敷地利用について》

- 屋台蔵正面には、傘揃いが出来るスペースがほしい。第一区の山車蔵は旧奥州街道に近いので正面で傘揃いが出来ない。
- 屋台置き場より道路へ繰り出しする時は、鉄板を敷いている。また、引綱で道路反対側の空地を利用して引いている。

《施設について》

- 屋台蔵の付属施設として、太鼓や笛の練習や祭り開催時の休憩・食事が出来る場所が必要となる。第二区コミュニティセンター内和室(約 100 m²)程度の広さがあると良い。
- 屋台蔵内でメンテナンスが行えるよう、ゆとりあるスペースが必要。
- 現在の屋台大きさは、電柱にあたらないよう切り詰めてある。元はもっと大きい。
- 棟飾りは当時の物である。
- デザインより防火、老朽化対策等で配慮して欲しい。
- 雨による土の跳ね上がり防止のため、べた基礎でも犬走は必ず付けて欲しい。
- 大屋台運行では数センチの段差でも大変な苦勞をして引き出しているので、段差解消の接続面に配慮して欲しい。
- 一部に大屋台の構造や祭りの歴史についての案内ができる場所があれば良い。

3.3 検討委員会の意見の整理

これまでに行われた検討委員会での意見を次に示します。4つの機能及び、複合施設全体について項目ごとに整理し、課題の抽出を行いました。

(※項目ごとの課題 →○○○○○)

(1) 図書館についての意見

※ [第○回] …検討委員会開催回

目標	○現在の矢吹町図書館の良いところを伸ばしてほしい。[第2回] ○町民と一緒につくる図書館を今後も継続していきたい。[第2回] ○親子で交流したり、講演会をやったり、色々なことが自由にできる図書館を目指したい。[第2回] ○本を読んだり、調べたりすることが好きになるのには遊び（の感覚）が必要。[第2回] →利点の洗い出し、町民参加、多様な活動への対応
管理運営・サービス	○就職者もゆっくり利用できる時間があれば良いと思うが開館時間が合っていない。[第2回] ○本の貸し出しだけでなく、あらゆる分野に利用できる図書館として整備できれば。[第2回] ○ルーラル電子図書館^{※12}等の有料サービスについて検討可能か。[第2回] ○読書により考える力を養い、映像による感動、感性につながると良い。また、逆に映像から読書に行くのもあり。[第2回] ○図書館は利用者と本・資料を結び付けるのが本来の機能。結びつけるのが職員。[第2回] ○ふみの森は町で運営しているが、筑西市は指定管理を採用しており、更新は5年ごととなっているようだ。矢吹町は3年ごとなので、長期的な計画がしにくい。[第2回] →開館時間の見直し、メディアの多様化への対応、レファレンスサービス^{※13}の再考
規模	○図書館を利用する頻度が全国と比べると少ないので、あまり大きくても使い切れないのではないかと。[第2回] ○1.5倍くらい現況の図書館よりも大きくないと使えない。[第2回] ○スペースが無いので利用者が少しでも声を出すと、(他の利用者から)「注意して下さい」と言われることもある。[第2回] ○光南高校の先生と生徒に来てもらって、科学遊びを実施している。狭いので、その都度机を移動している。[第2回]

※12、13 参考資料 P72 参照

	○（要望を踏まえ）図書館単独で（様々な機能を）考えるとかなりのボリュームになるが、複合施設の機能を組み合わせることで多様な機能に対応することができる。[第2回] →規模の拡大、複合化の利点の生かし方、図書館と生涯学習の融合
蔵書数	○何年先を見据えて蔵書数、書架を配置するのか。[第3回] ○オープンにあたり、蔵書をどのくらい増やすのか。[第3回] →根拠のある計画立案
施設配置	○妊婦、子ども、お年寄りもいるので図書館を2階に配置するとエレベーターが必要。[第2回] ○ワンフロアの計画は目が届きやすいため少人数で管理しやすい。[第2回] ○ツーフロアに分けると現在の図書館員の人数では足りない。[第2回] →運営体制を考慮した施設計画、バリアフリー対応
施設・設備	○静かな場所と、賑やかな場所があってもよい。[第2回] ○読み聞かせ等が出来る場所があるとよい。[第2回] ○寝ころんで読書できる部屋もよい。[第2回] ○トイレ等の設備は、幼児の便座やオストメイト※14の機能、授乳スペースがあると良い。[第3回] →多様な活動場所、多様な居場所、多様な利用者への対応
イメージ・デザイン	○入りやすさを重視した場所に。[第2回] ○明るく安心して利用できる場となるような施設づくり。[第3回] ○静かで明るくホッとする様な場所を多くの方々が望んでいる。[第3回] ○光と風を充分に取り込んだ室内設計を望む。[第3回] ○外観は切妻の和風を希望する。[第3回] ○ふみの森のように、木を主体とした建物。[第3回] ○人と人のコミュニケーションの場を設ける。[第3回] →親しみやすく安心できる、温かみを感じられる施設

※14 参考資料 P72 参照

(2) 公民館についての意見

目標	○公民館事業の存続など不安視されていることを払拭出来る環境整備が必要だ。[第4回] ○中央公民館は当初、住民の意見を聞いて浴室を設けた。そうした自由な発想で作られた。思いのこもった中央公民館が無くなることは寂しい。それも踏まえ、今の中央公民館より良いものが出来たと思われるような施設になってほしい。[第4回] ○公民館の役割は生きがい。町民の生きがいは公民館。[第4回] ○公民館職員が決めた事業では無く、主体的にやりたい、使いたいという町民がこれだけ利用している。サークルなど自主的な活動が、矢吹町の元気が集まっている場所である。[第4回] ○これまでの施設のイメージのままではなく、利用者の意見を大事にすると同時に、これまで利用していなかった人達、高校生、中学生などのニーズも受けとめながら施設を造る。[第4回] →<u>想いをかたちに。町民に愛され、柔軟な発想で、生きがいを育む施設づくり</u>
管理運営・サービス	○これまでの公民館事業に+αすることが必要だ。[第4回] ○中央公民館を拠点に活動している体育協会・矢吹町文化協会など町の任意文化団体が継続していけるようにしてほしい。[第4回] ○今は図書館も公民館も別々に管理しているが、それを一括で統括するような運営の仕方にも必要になる。運営方法の検討も一緒にやらなければ職員配置の課題も生まれる。[第4回] ○器自体はどのようにでも造れるが、それをどのように運営していくか、利用者の立場に立って議論していく必要がある。[第4回] →<u>施設計画と運営方法を同時並行で検討</u>
施設・設備	○あれも必要、これも必要と足し算するのではなく、一つのスペースを色々な形で使えるようにしていくことが大切だ。[第4回] ○スポーツ施設は意外と場所を取るため、文化施設と分けた方が良い。 ＜第4回＞ ○紫波町のオガールのようなフレキシブルなつくりは、あゆり祭のときも色々な活動が可能だ。音が出ない展示等はホールで音が出る活動は小さな部屋を使うなど工夫ができる。[第4回] →<u>具体的な利用実態と要望を踏まえた所要室・面積の検討</u>

施設・設備	＜大ホール＞ ○大ホールの利用率が低い為、可動椅子として普段使わないときは間仕切りで小さな部屋とすれば効率的に使える。[第4回] ○ことぶき大学の活動は文化センターの大ホールでは大き過ぎる。中央公民館の大ホールがちょうど良い。[第4回] ○可動式の椅子は大変良いと思うが高齢者は階段を昇るのは大変だ。平らなところに椅子があるから利用しやすい。[第4回] ○可動式の椅子など、技術的にどうするかは建築の方で考えるので、活動している人たちのための施設として、こういうことは押さえていかなければならないということをこの場で確認する。なお、この場で意見が出なくても専門的な立場で必要な配慮は行ってもらう。[第4回] ○今度の複合施設は図書館を使いながら公民館を使う感じになるのではない。音楽が出来る部屋や大ホールの防音についても考えなくてはいけない。[第4回] ○300 席のホールはかなり大きい。300 人が集まることは年に数回あるかもしれないが、人が少ないのに、大きなところでやると盛り上がり欠けたりする。年に何回かの最大の人数に合わせて作ると普段は持て余してしまう。[第4回] ○毎月1回180人程が集まるときがあるがもったいないとも思っている。 ○300人集まるときにあふれないようにするにはどのように工夫すればよいか考えたい。[第4回] ○足が悪くなったら、今のホールは（ことぶき大学の）月一回の本講座に行けない。（大ホールで）車椅子の人と一緒に話を聞いたり、杖をついて（大ホールに）行けたりできるエレベーターがあると良い。 [第4回] ○多目的ホールに椅子が置かれたままの造りにして、図書館を利用する子ども達が普段入ることができて、そこで本を読めるような柔軟な考えもあると思う。[第4回] →<u>誰もが使いやすく適正な規模のホール、多様な使われ方</u> ＜カフェ・展示スペース＞ ○大正ロマンの館に喫茶スペースがあるが、将来は喫茶スペースを複合施設に入れていただき、大正ロマンの館は文化施設として歴史・展示室になれば文化的な町になる。歴史・展示室を望んでいる団体もある。 [第4回] →<u>矢吹町の歴史文化の紹介・展示</u>
-------	---

施設・設備	〈調理室〉 ○子育て支援を行っている立場から、(参考資料の) 調理室の隣に和室があるような構成はとても良い。離乳食を作るのが難しいお母さんもいるので、お母さんと赤ちゃんが遊びに来て離乳食を作る講習会ができる。お母さんたちの自主的なサークル活動にもつながりそうだ。[第 4 回] →新たな活動を生み出す施設の構成 〈トイレ・水まわり〉 ○トイレ・階段など老朽化が進んでいる。冬は凍ってトイレが使えない。[第 4 回] ○手を洗う場所がほしい。[第 4 回] →誰もが気持ちよく使える快適なトイレ・水まわり 〈事務・職員スペース〉 ○公民館職員が働きやすい環境となれば良い。[第 4 回] ○事務室のとなりに一時預かり保育スペースがあるのも良い。[第 4 回] →働きやすく連携しやすい事務作業スペース
-------	---

(3) 屋台蔵についての意見

秋まつり・屋台	○現在はまつりの時に屋台を組み立てているが、屋台蔵が出来ると組み立ては無くなり常時見られるようにするのか。屋台が観光資源になる側面と、組み立て・解体という一連のサイクルの中で(伝統文化が)継承されていくことが大事という両面の捉え方があるがどうか。[第 5 回] ○町の予算を使う建物に特定の宗教に関わることにお金を出すのではなく、屋台文化の歴史として保存する事にお金を出すという事を明確にしてほしい。[第 5 回] ○一区の山車も歴史あるものだと思うので、一緒に矢吹町の住民としてやっていけるような形とすることが、町全体の発展、観光の課題だ。[第 5 回] ○矢吹町では三城目・五区・二区・神田の 4 カ所で盆踊りを行っている。盆踊りで使う盆櫓の柱も屋台蔵のバックヤードに入れてもらえるとうれしい。今は同じ屋台倉庫に分解して入れてある。[第 5 回] →観光資源として屋台を複合施設に保存・保管することを明確化 <u>屋台蔵に収納する物の確認</u>
---------	---

(4) 観光交流センター・歴史資料館についての意見

目標	○今はしまい込まれている歴史、民俗等の資料に日の目を見させる大事な場として複合施設をどうとらえていくか。歴史民俗資料館のような別の建物ができてそこで担って行くと安心してしまうのではなく、あるものは観光交流センター、あるものは図書館など、町が持っていて、なかなか見せる場がないものを外から来た人たちにどのように見てもらうかこれから議論していきたい。[第5回] ○駅にある観光案内所とどのように連携させていくか。造って終わりではなく、考えていくことが大事だ。[第5回] →複合施設における歴史資料の活用 <u>観光案内所など他の観光関連施設との連携</u>
----	--

(5) 子育て支援サービスについての意見

目標	○在宅で子育てしている人たちが仲間に出会える、不安が解消される、子育てが楽しくなることが大切だ。[第5回] ○一時預かり保育は町内の保育園も認定こども園も実施しようとするが、保育士が足りないためなかなか出来ない。複合施設の子育て支援は、乳幼児とその母親の交流スペースがあり、時には一時預かりも出来るような場を考えられるといい。[第5回] ○子育て家庭が少なくなる中でも子どもが豊かに育つ為には、質の高い教育、十分な子育て支援が必要だ。これから先、若い世代がこの町に住んでくれるかが町の存続にかかっている。子育てが安心して出来る町と言う事が最重要課題だ。[第5回] →保護者同士の交流、子育てに関する情報発信、安心して預けることができる一時預かり保育
管理運営・サービス	○世代間で交流できるスペースがあれば良い。また保健師や看護師に相談できたり、入園の相談もできたりするワンストップサービスができる場所が出来ると素敵だ。[第5回] ○保育園に預けていない0～2歳児の母親は、どうしても引きこもりがちになってしまって、何処から情報を得たらよいかもわからない。子育て支援室で保健師の方がいてもなかなか相談しにくい。そのため保護者のコミュニティの場となることがベストと思う。[第5回] ○なかなかセンターまで行けない、あるいは子どもをどこかに連れて行きたくても連れていけない、あるいは車が無い、家族の中に要介護者がい

管理運営・サービス	ると言う状況でどうしたら子どもと上手に遊べるのか分からない、あるいは引越してきたばかりで連れて行き方が分からないという家庭がある。家庭訪問型の子育て支援も丁寧に充実させていく事が必要ではないか。[第5回] ○子どもを産むために矢吹に帰ってきたりすることがある。矢吹町住民で無ければ施設が使えないと言う事では無く、近郊の人達も支援して頂けないか。[第5回] ○相談窓口としての機能がメインなのか、毎日、子どもを預かる施設として考えていくのか。相談だけなら職員は2名もいれば十分だが、子どもを預かるとなると最低でも5、6人必要で運営できるのか。施設の規模にも関わってくる。[第5回] →世代間交流、近隣に支援を広げる可能性、専門的なことも相談できる環境
施設・設備	○子育て支援機能であれば60～80㎡あれば機能が発揮できるし、相談スペースも持てる。[第5回] →導入機能の検討、必要面積の検討

(6) これからの複合施設についての意見

管理運営・サービス	○テナントを入れて人が沢山来る施設にすればよいのではないか。[第2回] ○複合施設の運営方法について十分に検討することが大事だ。[第3回] ○維持管理の容易性に配慮した設計にすべき。[第3回] ○維持管理方法が課題。[第3回] ○利用者の特性やニーズを受け止めて、矢吹町ならではの管理運営体制の検討。[第7回] →管理運営方法の検討
複合による利点と課題	○今度の複合施設の要素に図書館が入っているが、図書館は1人でも来られる場所だ。そのときに色々な活動に出会える機会ができる複合施設ならではの多世代の交流が生まれる様な場としたい。その為には、ただ足し算では無くても単独では出来ないふれあいや活動が生まれる施設の配置や関係性が非常に大事なテーマになる。[第7回] <音が出る活動に関する対応> ○音楽活動をやっているとどうしても遮音性が求められる。図書館や子育て機能は静寂性が求められるだろう。子供の泣き声が聞こえないような工夫や音楽・太鼓の遮音性が要求される。[第7回]

複合による 利点と課題	○静かな環境が必要なところとカラオケなど賑やかなところがあることを考慮して、どのような配置があるのか考えていくことが課題だ。[第7回] ○図書館機能と中央公民館機能を一体化する事で注意しなければならないのは遮音だと思う。[第7回] ＜世代間交流＞ ○幼い子ども達と高齢者が会って話したり、交流したりする事は良い事だ。 ○図書館はお年寄りの方も日中沢山くる。団体利用の学校・幼稚園が来ていると、お年寄りの方が微笑ましく見守ってくれたり、知り合いの子がいて「〇〇さん家の孫だ」など声を掛けたりしてくれる。世代間交流は日中行われると思う。[第7回] ＜利用時間帯＞ ○子育て支援は在宅子育ての利用が中心となると活動時間帯は日中になると思う。図書館は中高生が勉強で使うのは夕方から夜なので、その時間は本を借りる場所ではなく、学習スペースが開かれていれば良いのではないか。(貸出など) 図書館機能は例えば18時までとし、勉強したい人のスペースは21時まで使えるというように人の配置と利用時間を上手く組み合わせられるといい。[第7回] →複合施設としての利点を生かし、課題を解決するゾーニング計画
所要室・ 室構成	○学習室として公民館が空いていたら使える、空いていなかったら使えないというのでは困るという意見を受けて面積の組み立てを変えていくことを考えてほしい。[第8回] ○夜に会議をしたいとき結構塞がっている。例えば3年分の利用状況を分析して、会議で使えるのは和室と会議室と談話室しか無い状況と合わせて整理してほしい。[第8回] ○図書館に談話室がありそれを多目的に活用している。館内の活動で毎日のように使っているが、図書館の中に部屋を1つ造り今の談話室よりも、ひとまわり大きい部屋としてほしい。幼稚園から小学生の子供達の団体利用が多く月に数回利用している。幼稚園では絵本読み聞かせ、小学生は体験学習や調べ物。中高生は職場体験といった団体活動が多くある。また、お話し会のボランティアが準備や教材作り、練習をしている。職員の教材準備、研究、学校や病院で行うお話会の練習や会議もそこでやっている。[第9回] ○和室について、(高齢者は)習字など座って出来ない。椅子を備え付けるのか。正座は絶対駄目なので、頭に入れておいてほしい。[第9回] ○お茶の団体は和室を使うので和室は必要だが1つで良い。調理室隣の和

所要室・ 室構成	室は調理してすぐ隣で食べられる場所があればよい。[第9回] ○これから配置計画の模型を使った説明があるが、どれも敷地を目一杯使った案だ。障がい者や緊急の駐車スペースを確保するためにも、目一杯で良いのかと言っているがいい答えが帰ってこない。常に 2,900 m²を維持した考え方でいくといつまでも敷地目一杯使う話になる。和室が必要かどうかまで考えないと、本当に必要な部屋の構成がまとまらなくなる。利用率で稼働が低いところは検討を頂きたい。[第9回] ○和室は水場が近くにほしい。フレキシブルに使える多目的室と和室がパーテーションで区切られていたり、フローリングとして必要に応じて畳を敷くというやり方もある。子育て支援センターではよく 90 センチ角の畳を出すような使い方もある。和室として固定されたものが1つ、多様な使い方が出来るものが1つといった造りもいい。[第9回] →<u>面積抑制のための所要室の精査・必要性の検討・要求との調整</u> →<u>機能・用途の重ね合わせを考慮した所要室の組み立て</u>
配置計画	○まつりで屋台を使うのは2年に1回で1日だ。他の施設はオールシーズン使う。まつりの為だけに配置を決めるのはどうか。駐車場からどのような動線を作れば良いのかも検討した方が良い。日常的に使う利用者の動線を優先した方が良い。[第7回] ○計画敷地の西側の土地に駐車場が出来ないか。高齢者が北西側の駐車場から歩くには距離がある。今の中央公民館と比べて遠い。[第8回] ○駐車場からの距離を考え手前に公民館機能がある方が良いかもしれない。[第8回] ○障がい者、緊急時の駐車スペース、バスの乗降場所などができるように検討してほしい。[第9回] ○マイクロバスを停める場所は敷地の中に設けるべき。[第9回] ○現在、徒歩またはバスで図書館に来ている幼稚園と小学校があり、雨の際は雨に濡れない様に中に入れるようになっている。図書館としても安全に乗り降りができるようお願いしたい。駐車場から施設まで万が一事故に遭って、行かない方がよかったとならないように。[第9回] ○駐車場に近い西側に入口できた方が良い。車社会で徒歩の方は少ない気がするためメインは西側が良い。正面まで 100mの移動となるとお年寄りにはつらい。[第9回] ○奥州街道からの景観の事を考えると東側からの見え方が大事になる。シャッターが閉まっている店が多い中で、にぎやかに見える街道になってほしい。[第9回]

	○植栽はたくさん作ってほしい。低木だと子どもが隠れてしまう。例えば車が停めてあって、ボンネットの陰に2,3歳の子どもは隠れてしまう。私たちの身長ほどから枝が出ている木の方が下は見通しがよい。日が差す南側には並木があり、木陰があった方がよい。[第9回] ○道路のどちらに停めても、入りやすいところがある方がよい。[第9回] →<u>駐車場と建物の出入口の位置関係</u> →<u>自動車の利便性・安全性と周辺のまちづくり・環境の向上につながる外構計画・デザインの検討</u>
平面計画	○子育て支援機能は児童図書スペースとの連携を考えているが、むしろ公民館機能の中にあれば利用時間の自由がきくのでは。 [第9回] →<u>子育て支援機能と公民館機能の連携</u> ○多目的ホールの利用率は意外と低く、面積も大きいですが、1階が良いのか2階が良いのか優先して決めた方がよい。高齢者や小さい子どもが2階に行くのはどうなのかと思う。[第9回] ○白河のコミネスのホールは1階でとても使い勝手がよい。使い勝手は2階よりよい。[第9回] ○稼働性を高めるために多目的に使えるようにして、かつホールの雰囲気をよくするためには高度な設計提案が求められる。また利用を高める為に企画、運営体制を整えていく必要がある。ホールは利用されていない時間が圧倒的に長いという宿命がある。多くの町民に使われながら、よい雰囲気を持つソフト面*とハード面*が両立した計画が目指すものになるだろう。[第9回] ○控室としても利用できる部屋の計画。[第10回] →<u>使い勝手のよいホール、雰囲気のよいホール、様々なイベントで使える開放的なホール、利用率の高いホール、利用率を高める企画運営</u>
周辺道路	○計画敷地南西の交差点は怖い。一時停止しない車がある。小さい子連れで行くので危ない。[第8回] ○交差点をカラー舗装にするなど何かしなければならない。[第8回] →<u>安全な道路空間の検討</u>

(7) その他

実現性	○複合施設に出来る程、予算と敷地面積があるのか不安。[第3回] ○補助金利用方法を考えた方が良い。多方面から補助を受けられるように。 [第3回] ○事業費のふくらみが心配。[第3回] ○予算16億円で、要望を聞き入れて、不安を解消して、図書館や公民館も子育ても、屋台蔵もとなると本当に出来るのか心配になってくる。 [第5回] ○複合施設の限界を設けて行かないと無理があるのではないかな。専門的な部分は専門の施設として整備して頂かないと膨大な施設になる。[第5回] →事業費内で多様な要求を満たす工夫のある施設計画
まちづくり	○光南高校の生徒のバス乗り場は矢吹駅東口からではなく、西口から発着し、帰りは図書館経由で西口に行くと生徒たちにとっては便利ではないか。西口にも大型バスは入れるが、タクシーなどが来ると動きが取れない。大型バスの駐車場を兼ねたスペースができると良い。[第2回] ○街中居住や拠点づくりがテーマであるため、複合施設だけではなく、利用者の交通のことなどまちづくりを絡めて考えたい。[第2回] →公共交通ネットワークの検討
計画・設計プロセス	○引越し作業をどのくらいの期間で実施する予定で、現図書館の閉館期間はどのくらいになるのか。[第3回] ○現図書館の指定管理がH32年3月迄だが、この期間内にオープンするのか。今後の計画で（指定管理者に）関わりがあることがあれば、早めに情報提供いただきたい。[第3回] →移転計画の検討
キャッチフレーズ	○子供達が見てもわかるようなキャッチフレーズがいいのでは。「遊んで学んで 明日に繋ごう」のような。[第9回] ○図書館で学ぶ、多目的ホールで皆さんと遊ぶという意味があっても良い。 [第9回] ○子供・お年寄り・未来・学び・憩いを上手く組み合わせられたら良いのではないかな。[第10回] ○言おうとする子供・お年寄りなどの言葉をそのまま出すと文が長くなってしまうので、その方々も含めた別な形容詞を1つ作って補足的にする と良いのでは。「みんなで」等。[第10回] ○1つ1つのワードが区切られているのが良いのかなと思う。[第11回] ○「フロンティア広場」は魅力的で矢吹にピッタリ合っていると思う。 [第11回] →4つの機能を連想できるキャッチフレーズ



第3回検討委員会(視察)の様子



第7回検討委員会の様子



第8回検討委員会の様子